



柏市母子保健計画 中間評価(案)

親子がともに健やかに育つまち柏

令和4年3月

柏市

章立てについては令和2年度母子
保健部会で承認を得ています。

目 次

第1章 はじめに

1 母子保健計画の基本的な考え方	1
（1）計画策定の背景と趣旨	1
（2）計画の位置づけ	2
（3）計画の期間	3
（4）中間評価の策定体制	3
（5）推進施策の体系	4
（6）計画策定時の推進事業一覧	5
（7）中間評価の目的・方法	7
（8）柏市母子保健計画に関する調査概要	7

第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題

1 柏市の母子保健に関する現状	12
2 中間評価結果	15
（1）評価の概要	15
（2）施策分野別・指標種類別の評価状況	15
（3）基本目標・施策分野別・種類別指標一覧	16
（4）指標の達成状況と評価	17
3 基本目標・施策分野別にみた評価と課題	19
基本目標1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち	20
施策分野（1）切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援	20
施策分野（2）妊娠期からの児童虐待防止対策	28
基本目標2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	31
施策分野（1）子育て・子育て・親育ちの支援	31
施策分野（2）健やかな体と心をつくる学びの推進	36
基本目標3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支えあうまち	41
施策分野（1）配慮が必要な子ども及び配慮が必要な 子育て家庭への切れ目のない支援	41

第3章 最終評価に向けた指標に関する整理

1 柏市母子保健計画中間評価指標に係る修正	46
-----------------------	----

第4章 施策の取り組みと推進体制

1 行政の役割	48
2 関係団体等の役割	49
3 市民の取り組み	50
4 推進体制	52
（1）優先的取り組み政策工程表	53
（2）推進事業一覧	54

第5章 参考

1 柏市保健衛生審議会母子保健部会委員名簿	58
2 資料	59
（1）柏市母子保健計画策定に係る二一ズ調査結果（概要）	59
（2）人口動態総覧	63
（3）指標の見直しについて	65
（4）母子保健事業の変移	68

第1章 はじめに

議事1	「第1章 はじめに」について（資料4：P1～11）
審議内容	母子保健計画の基本的な考え方、計画の位置づけ、推進体系、中間評価の方法についてまとめました。 まとめ方について、ご意見ご指導をお願いします。

1 母子保健計画の基本的な考え方

（1）計画策定の背景と趣旨

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により、妊産婦・母親の孤立感や負担感が高まり、子育てに強い不安を抱えている家庭が増加しています。また、令和元年度末から世界的に流行し始めた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、感染症防止対策のため「新しい生活様式」を行なうことで、人との接触や関わり方に配慮が必要になりました。

近年の母子保健を取り巻く状況は大きく変化しております。国では、平成28年「児童福祉法等の一部を改正する法律」にて母子保健法の改正を行い、市町村は妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を設置するように努めることとしました。

平成30年12月には、「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律（成育基本法）」が成立し、「健やか親子21（第2次）」は成育基本法に包含される取組みと位置付けられています。さらに、令和元年12月に母子保健法の一部を改正する法律が公布され、「産後ケア事業」を実施することが市町村の努力義務となりました。

国では、「健やか親子21（第2次）」について令和元年度に中間評価を行い、全指標の現状値の整理と現状を把握し、中間評価時に新たに指標として加えた方がよいと思われる課題の抽出を行っています。

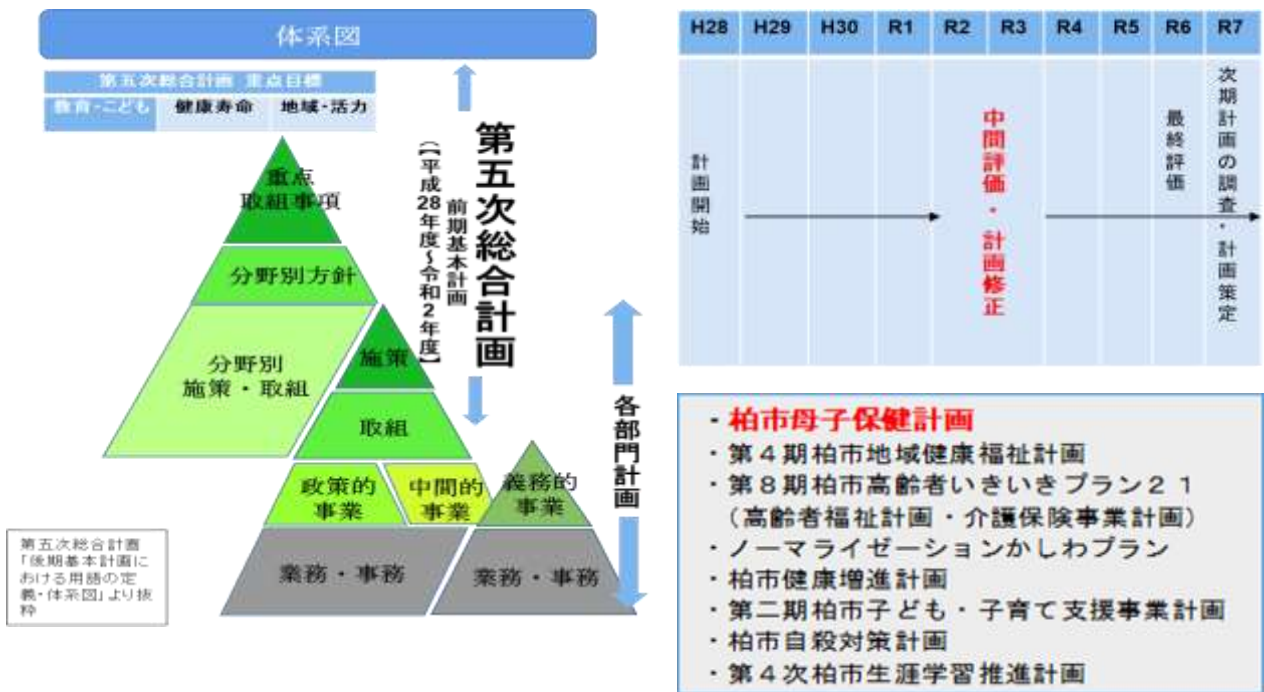
本市では、平成28年3月策定された「柏市母子保健計画」に基づいて、母子保健対策の総合的な推進に取り組んでまいりました。本計画の中間評価においても、「健やか親子21（第2次）」の中間評価を参考に見直しを行うこととしました。

(2) 計画の位置づけ

母子保健計画と関係している柏市の計画等について記載しました。

本計画は、本市のまちづくりの基本的な方向性を示す総合的な指針である「柏市第五次総合計画（平成28年から令和7年度）」における分野別計画とし、本市の母子保健に関する「基本計画」の役割を有しています。

また、本市が策定した「柏市健康増進計画」「第4期柏市地域健康福祉計画」「第二期柏市子ども・子育て支援事業計画」など保健・福祉・教育をはじめ、各分野の個別計画との整合性を図っています。さらに、国の計画である「健やか親子21（第2次）」の趣旨を踏まえ策定しました。



(3) 計画の期間

計画期間の修正状況を記載しました。

計画の期間は、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 か年です。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延防止対策に伴い、令和 2 年度、令和 3 年度の 2 年間をかけて中間評価及び計画の見直しを実施しました。

ただし、社会経済情勢の変化や大きな制度の改正、関連する個別計画との整合に柔軟に対応できるよう、必要に応じて見直しを行います。

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
柏市母子保健計画									
				中間見直し					次期計画策定
健やか親子 2 1（第 2 次）									
			中間評価						

(4) 中間評価の策定体制

中間評価の策定体制について、経過を記載しました。

本計画の中間評価にあたっては、令和元年 9 月から実施した柏市母子保健計画に関する調査において、市民の意見を聴取しました。また、柏市の人口動態調査や母子保健分野における各種データより柏市で暮らす親子が置かれている現状を把握するとともに、庁内及び庁外関係機関・部局間で調整を図った上で、柏市保健衛生審議会母子保健部会（旧名称：母子保健専門分科会）における協議及び助言を踏まえ、本計画の中間評価を実施しました。

計画策定時の推進施策の体系を記載しました。

(5) 推進施策の体系

計画では、基本理念と3つの基本目標を推進するために、各施策分野を位置づけ、10年間の計画期間で推進を図ります。

基本目標 1. 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち

施策分野 (1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援

- 基本施策
- ① 妊娠から継続した総合的な支援体制の整備
 - ② 乳幼児期の健やかな成長の支援
 - ③ 地域ぐるみの子育て支援の充実
 - ④ 災害等における危機管理体制の整備

施策分野 (2) 妊娠期からの児童虐待防止対策

- 基本施策
- ① リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援
 - ② 地域の医療、福祉、保育機関等との連携

基本目標 2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち

施策分野 (1) 子育て・子育て・親育ちの支援

- 基本施策
- ① 育児・健康等の不安の軽減
 - ② 地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携
 - ③ 子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備

施策分野 (2) 健やかな体と心をつくる学びの推進

- 基本施策
- ① 心身の健康づくりの基本に関する教育の推進
 - ② 健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備

基本目標 3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち

施策分野 (1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援

- 基本施策
- ① 要支援家庭への個別支援の充実
 - ② 発達発育・養育環境等の不安の軽減
 - ③ 発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発
 - ④ 地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化

計画策定時の推進事業一覧を記載しました。

(6) 計画策定時の推進事業一覧

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課
1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援	1(1)① 妊娠から継続した総合的な支援体制の整備	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業	保健所	地域保健課
			利用者支援事業（基本型・特定型）：子育て世代包括支援センター	こども部	子育て支援課
			妊娠届出の受理と母子健康手帳の交付等	保健所	地域保健課
			ママパパ学級		地域保健課
			不妊に悩む方への特定治療支援事業		地域保健課
			新生児・産婦訪問指導		地域保健課
			子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）		地域保健課
			子育て支援事業(母と子のつどい)		地域保健課
		保健栄養事業	地域保健課		
		1(1)② 乳幼児の健やかな成長の支援	妊婦・乳児一般健康診査助成事業		保健所
			新生児・産婦訪問指導	地域保健課	
			予防接種等事業	健康増進課	
	幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）		地域保健課		
	1(1)③ 地域ぐるみの子育て支援の充実	子育て支援事業(母と子のつどい)	保健所	地域保健課	
		柏市民健康づくり推進員活動		地域保健課	
	1(1)④ 災害等における危機管理体制の整備	柏市地域防災計画の運用	保健所	地域保健課	
		柏市保健所震災対応マニュアルに基づく業務推進		地域保健課	
	1(2) 妊娠期からの児童虐待防止対策	1(2)① リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業	保健所	地域保健課
特定妊婦・要支援家庭への支援事業			地域保健課		
1(2)② 地域の医療、福祉、保育機関等との連携		特定妊婦・要支援家庭への支援事業	保健所	地域保健課	
2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2(1) 子育て・子育て・親育ちの支援	2(1)① 育児・健康等の不安の軽減	子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）	保健所	地域保健課
			母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）		地域保健課
			幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）		地域保健課
		2(1)② 地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携	特定妊婦・要支援家庭への支援事業	保健所	地域保健課
		2(1)③ 子育て・子育て・親育ちに	ベビプロ・ペアプロ	こども部	子育て支援課
妊婦・乳児一般健康診査助成事業			地域保健課		

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課	
		関する啓発・環境整備	幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）	保健所	地域保健課	
			利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業		地域保健課	
			電子母子手帳サービス事業		地域保健課	
			母子保健に関する啓発		地域保健課	
	2(2) 健やかな体と心をつくる学びの推進	2(2)① 心身の健康づくりの基本に関する教育の推進		思春期保健事業	保健所	地域保健課
				2(2)② 健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備		地域ウォークの推進
		健康教育	健康増進課			
		母子歯科保健事業	地域保健課			
		成人歯科保健事業（かしわ歯科相談室）	健康増進課			
		母子保健食育（離乳食教室，食育関係）	地域保健課			
		栄養改善事業	健康増進課			
		タバコ対策	健康増進課			
		思春期保健事業	地域保健課			
		電子母子手帳サービス事業	地域保健課			
母子保健に関する啓発	地域保健課					
3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち	3(1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援	3(1)① 要支援家庭への個別支援の充実	新生児・産婦訪問指導	保健所	地域保健課	
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業		地域保健課	
			幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）		地域保健課	
		3(1)② 発達発育・養育環境等の不安の軽減	未熟児・多胎児等支援事業（のびのび相談）	保健所	地域保健課	
			こども発達センターの事業	こども部	こども発達センター	
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業	保健所	地域保健課	
			小児慢性特定疾病医療支援事業		地域保健課	
		養育医療給付事業	地域保健課			
		3(1)③ 発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発	幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）	保健所	地域保健課	
		3(1)④ 地域の医療，福祉，保育，教育，療育機関等との連携の強化	保育機関への助言相談（巡回相談）	保健所	地域保健課	

* 担当部・担当課は，令和3年度時点の名称となっています。

(7) 中間評価の目的・方法

令和2年度母子保健部会で提示したものと変更はありません。

① 中間評価の目的

母子保健計画全体として効果を発揮しているかという観点も踏まえ、個々の施策や数値目標、目指すべき姿への達成状況の評価結果を、必要に応じて施策に反映させ、進捗状況の確認及び見直しを行います。

② 中間評価の方法

- (ア) 各種データより柏市の母子保健の現状を分析
- (イ) 市民のニーズ調査の実施
- (ウ) 38 指標の評価
- (エ) 事業評価の実施

調査結果は令和2年度に提示したものと変更はありません。

(8) 柏市母子保健計画に関する調査概要

① 調査目的

計画の中間評価にあたり、柏市の母子保健に関するサービス等の利用状況、質的及び量的なニーズを把握することを目的としています。

② 調査地域

柏市全域

③ 調査時期

令和元年9月1日から11月30日

④ 調査対象と方法

3種類のアンケートによる質問紙調査を実施

調査の種類	対象者	実施方法
3～6か月児調査	令和元年8月末時点の住民基本台帳で月齢3～6か月となる児をもつ保護者	郵送にて配付・回収
1歳6か月児健診調査	令和元年10月1日～11月30日に1歳6か月児健康診査を受診した保護者	問診票と同封郵送・健診会場で回収
3歳児健診調査	令和元年10月1日～11月30日に3歳児健康診査を受診した保護者	問診票と同封郵送・健診会場で回収

⑤ 配付・回答結果

	調査票種別	配布数 (a)	回収数 (b)	有効票数 (c)	回収率 (b/a)	有効回収率 (c/a)
1	3～6か月児 調査	1,062	621	616	58.5%	58.0%
2	1歳6か月児 健診調査	544	411	404	75.6%	74.3%
3	3歳児健診 調査	625	436	420	69.8%	67.2%
	計	2,231	1,468	1,440	65.8%	64.5%

⑥ アンケート設問一覧

設問	調査の種類			指標番号
	3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
問 居住地	○	○	○	
問 性別	○	○	○	
問 子どもとの関係	○	○	○	
問 年齢	○	○	○	
問 職業	○	○	○	
問 柏市での居住年数	○	○	○	
問 回答者を除く同居家族人数	○	○	○	
問 同居している子どもの人数	○	○	○	
問 子どもの月齢	○			
問 子どもの出生順位	○	○	○	
問 子どもの性別	○	○	○	
問 妊娠中や産後、困ったときの相談相手の有無	○	○	○	
枝問 妊娠中や産後、困ったときの相談相手（複数回答）	○	○	○	
問 妊娠中の母親の喫煙有無	○	○	○	3
問 妊娠中の母親の飲酒有無	○	○	○	6
問 妊娠中の母親の三食摂食状況	○	○	○	28
問 妊娠中の母親の就労有無	○	○	○	11
枝問 妊娠中の就労時の職場の配慮（複数回答）	○	○	○	
問 妊娠、出産についての状況の満足度	○	○	○	1
問 ア. 出産する施設に関する十分な情報提供＜満足度＞	○	○	○	
問 イ. 病院・助産院等の施設＜満足度＞	○	○	○	
問 ウ. 病院・助産院等のスタッフの対応＜満足度＞	○	○	○	
問 エ. 妊娠・出産・育児についての不安への対応＜満足度＞	○	○	○	
問 オ. 妊娠健康診査＜満足度＞	○	○	○	
問 カ. 柏市や病院・助産院等による母親（両親）学級 ＜満足度＞	○	○	○	
問 キ. 妊娠中の受動喫煙への配慮＜満足度＞	○	○	○	
問 ク. 家族の援助など家庭環境＜満足度＞	○	○	○	
問 ケ. 職場の理解や対応＜満足度＞	○	○	○	
問 産後1か月間の母親の育児場所（複数回答）	○	○	○	
枝問 実家の場所（複数回答）	○	○	○	
問 産後1か月間に手伝ってくれた人の有無	○	○	○	
枝問 産後1か月間に手伝ってくれた人（複数回答）	○	○	○	
問 「2週間健康診査」の受診有無	○	○	○	

設問	調査の種類			指標番号
	3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
問 助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けたか	○	○	○	
問 生後1か月時に意向のあった栄養法	○	○	○	
問 生後1か月時の実際の栄養法	○	○	○	
問 現在の子育ての状況の満足度	○			
問 子どもの就寝時間		○	○	
問 子どもの起床時間		○	○	
問 子どもの生活リズム		○	○	37
問 子どもの朝食摂食状況		○	○	
枝問 子どもの朝食摂食相手（複数回答）		○	○	23
問 野菜料理が含まれている子どもの食事（複数回答）		○	○	
問 現在の母親の喫煙状況	○	○	○	4
問 現在の父親の喫煙状況	○			5
問 休日や夜間の急病時の医療機関等の情報認知有無	○	○	○	
問 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の有無	○			
問 父親の育児参加状況	○			18
問 母親の子どもの育てにくさの程度	○	○	○	38
枝問 母親の子どもの育てにくさの内容（3つまでの複数回答）	○	○	○	
問 乳幼児揺さぶられ症候群の認知有無	○			27
問 子どもが「親の後追いをする」ことの認知有無	○			
問 何かに興味を持った時に、指さして伝えようとするものの認知有無		○		
問 子どもが浴室のドアを1人で開けることができないよう工夫してあるか		○		
問 他の子から誘われれば遊びに加わろうとするものの認知有無			○	
問 近所で親子が集える場所に行っているか（複数回答）	○	○	○	21
問 子どもとの外出時に声掛けしてくれる近所の人の有無	○	○	○	12
問 この地域での今後の子育て意向	○	○	○	10
問 予防接種を進める際に参考にしているもの（複数回答）	○	○	○	
問 家庭での災害への備えの有無	○	○	○	
枝問 家庭での災害への備えの内容（複数回答）	○	○	○	
問 今後、母子保健サービスで力を入れてほしい事業（複数回答）	○	○	○	
問 妊娠・出産・育児に関するサービスを保健師等に調整・案内等をしてもらいたいのか	○	○	○	
問 妊娠子育て相談センター利用経験有無	○			
問 妊婦一般健康診査の助成利用経験有無	○	○	○	
問 電子親子手帳利用経験有無	○	○	○	
問 ママパパサロン利用経験有無	○			
問 ママパパ学級利用経験有無		○	○	
問 サタデーゆりかごサロン利用経験有無	○			
問 新生児訪問利用経験有無	○	○	○	
問 母と子のつどい利用経験有無	○	○	○	
問 柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問利用経験有無	○	○	○	
問 離乳食教室利用経験有無	○	○	○	
問 乳児一般健康診査の助成（3～6か月）利用経験有無	○	○	○	
問 8か月児相談利用経験有無		○		
問 乳児一般健康診査の助成（9～11か月）利用経験有無		○	○	
問 1歳6か月児健康診査利用経験有無		○	○	
問 2歳の歯☆ピカランド利用経験有無			○	

設問	調査の種類			指標番号
	3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
問 フッ化物歯面塗布事業（2歳6か月頃）利用経験有無			○	
問 3歳児健康診査利用経験有無			○	
問 にこここダイヤルかしわ利用経験有無	○	○	○	
問 子育てサイト「はぐはぐ柏」利用経験有無	○	○	○	
問 かしわこそだてハンドブック利用経験有無	○	○	○	
問 マップルプル（リーフレット）利用経験有無	○	○	○	
問 ファミリー・サポート・センター利用経験有無	○	○	○	
問 さわやかサービス利用経験有無	○	○	○	
問 保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育利用経験有無	○	○	○	
問 妊娠子育て相談センターを利用していない理由（複数回答）	○			
問 妊婦一般健康診査の助成を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 電子親子手帳を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 ママパパサロンを利用していない理由（複数回答）	○			
問 ママパパ学級を利用していない理由（複数回答）		○	○	
問 サタデーゆりかごサロンを利用していない理由（複数回答）	○			
問 新生児訪問を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 母と子のつどいを利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 離乳食教室を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 乳児一般健康診査の助成（3～6か月）を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 8か月児相談を利用していない理由（複数回答）		○		
問 乳児一般健康診査の助成（9～11か月）を利用していない理由（複数回答）		○	○	
問 1歳6か月児健康診査を利用していない理由（複数回答）		○	○	
問 2歳の歯☆ピカランドを利用していない理由（複数回答）			○	
問 フッ化物歯面塗布事業（2歳6か月頃）を利用していない理由（複数回答）			○	
問 3歳児健康診査を利用していない理由（複数回答）			○	
問 にこここダイヤルかしわを利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 子育てサイト「はぐはぐ柏」を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 かしわこそだてハンドブックを利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 マップルプル（リーフレット）を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 ファミリー・サポート・センターを利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 さわやかサービスを利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育を利用していない理由（複数回答）	○	○	○	
問 妊娠子育て相談センターを利用した感想	○			
問 妊婦一般健康診査の助成を利用した感想	○	○	○	
問 電子親子手帳を利用した感想	○	○	○	
問 ママパパサロンを利用した感想	○			
問 ママパパ学級を利用した感想		○	○	
問 サタデーゆりかごサロンを利用した感想	○			

設問	調査の種類			指標番号
	3か月～ 6か月児	1歳 6か月児	3歳児	
問 新生児訪問を利用した感想	○	○	○	
問 母と子のつどいを利用した感想	○	○	○	
問 柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問を利用した感想	○	○	○	
問 離乳食教室を利用した感想	○	○	○	
問 乳児一般健康診査の助成（3～6か月）を利用した感想	○	○	○	
問 8か月児相談を利用した感想		○		
問 乳児一般健康診査の助成（9～11か月）を利用した感想		○	○	
問 1歳6か月児健康診査を利用した感想		○	○	
問 2歳の歯☆ピカランドを利用した感想			○	
問 フッ化物歯面塗布事業（2歳6か月頃）を利用した感想			○	
問 3歳児健康診査を利用した感想			○	
問 にこにこダイヤルかしわを利用した感想	○	○	○	
問 子育てサイト「はぐはぐ柏」を利用した感想	○	○	○	
問 かしわこそだてハンドブックを利用した感想	○	○	○	
問 マップルブル（リーフレット）を利用した感想	○	○	○	
問 ファミリー・サポート・センターを利用した感想	○	○	○	
問 さわやかサービスを利用した感想	○	○	○	
問 保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育を利用した感想	○	○	○	
問 妊娠中や子育て中の市外からの転入有無	○	○	○	
枝問 妊娠中や子育て中の市外からの転入時期	○	○	○	

第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題

母子保健を取り巻く現状を把握するため、母子保健に関連する基礎データを計画策定当時と比較し、現状分析を行いました。ここでは特色のあったデータを掲載しています。

1 柏市の母子保健に関する現状

(1) 人口の状況

計画策定時（平成27年度）と比較し、特色のあるデータを選別してまとめました。

① 人口増加

本市の人口は、平成28年では412,127人でしたが、令和2年には427,639人となり増加傾向にあります。令和7年度をピークに減少に転じる見通しとなっています。

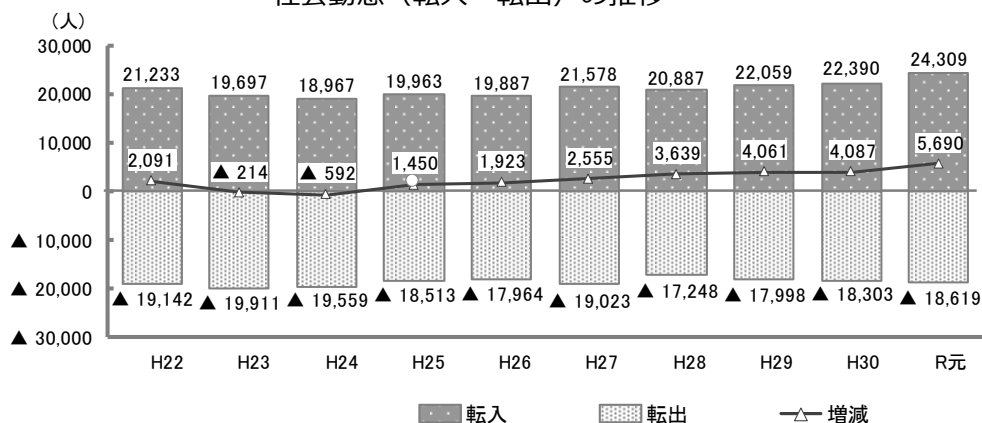
② 子育て世代の核家族化は増加傾向

本市の未就学児（6歳未満）世帯員のいる核家族世帯割合は、平成27年で92.7%と増加傾向にあります。全国、千葉県と比較すると、全国、千葉県より高い状況になっています。子育て世代の核家族化は増加傾向にあります。

③ 転入者の増加

平成22年から令和元年の社会動態（転入・転出）の推移をみると、平成23年の東日本大震災以降、2年間にわたり転出超過となりましたが、平成25年以降は転入超過に転じ、増加数は1千人から5千人超へと拡大しています。

社会動態（転入・転出）の推移

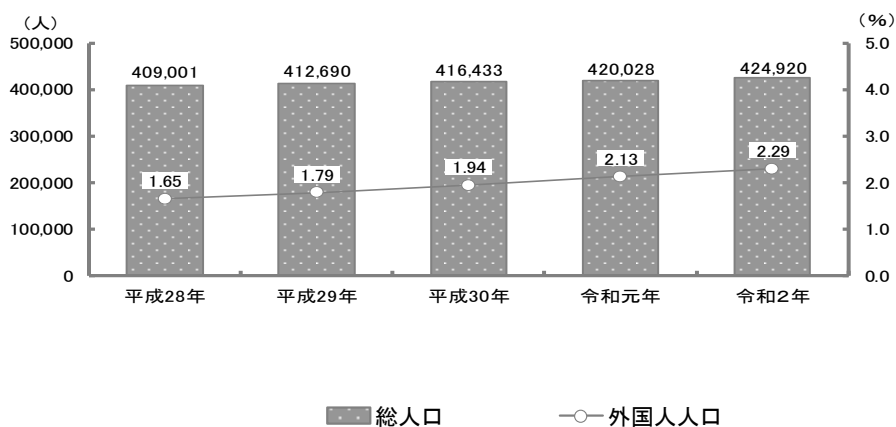


資料：千葉県毎月常住人口調査結果報告書

④ 外国人人口の割合の増加

外国人人口の割合は年々増加傾向にあり、それに伴い、外国人の妊産婦も増加傾向にあります。言葉や文化によるハンデキャップに加えて、出身国と日本の保健医療システムの違いなどにより、不安や困難さを抱えて、支援を必要とするかたも一定数います。ハイリ

スク妊婦（①外国人登録無②医療保険未加入③日本語の理解が困難※①～③のいずれか該当）として把握した外国人妊産婦は令和元年度は29人であり、外国人人口の割合の増加により、今後も増えていくことが予測されます。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年1月1日現在）

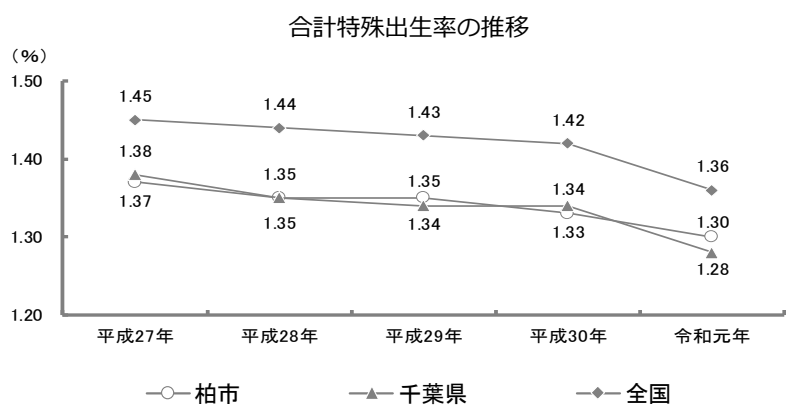
（2）少子化の進行

① 出生数、出生率は減少傾向

本市の出生数は、平成27年では3,321人でしたが、令和元年には3,031人となり減少傾向にあります。出生率(人口千対)は、平成27年では8.1でしたが、令和元年には7.3となり減少傾向にあります。

② 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は、平成27年では1.37でしたが、令和元年には1.30となり減少傾向にあります。全国、千葉県と比較すると、全国より低く、千葉県と同程度の状況で推移しています。平成30年から令和元年度の推移を比較すると、国、千葉県と比較し減少率は緩やかになっています。

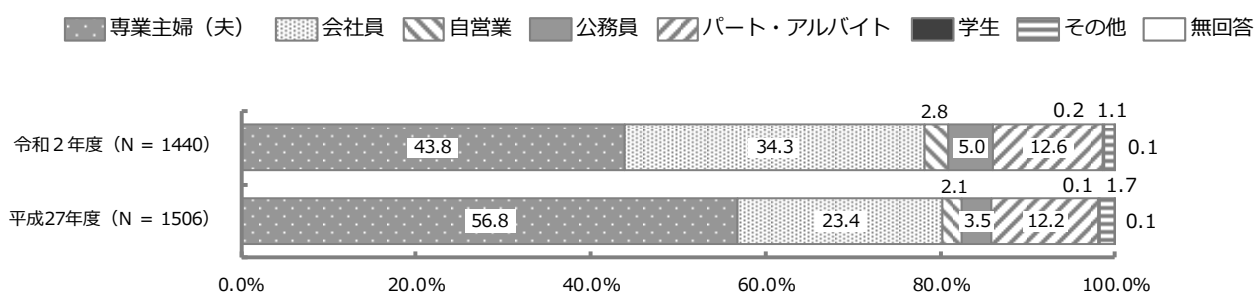


資料：人口動態統計

(3) 女性の雇用数の増大

就学前に働きながら子育てをしている母親の割合は増加傾向

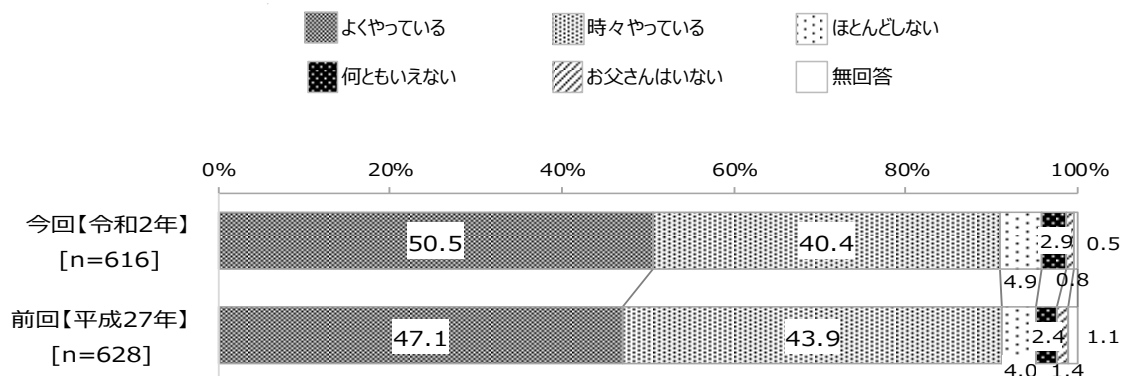
アンケート調査結果における就学前の就労状況をみると「専業主婦」の割合は、前回調査が 56.8%であったのに対し、令和元年度調査では、43.8%となり、就学前に働きながら子育てをしている母親の割合は増加傾向にあります。



(4) 父親の育児参加は増加傾向

父親の育児の状況については、「よくやっている」が 50.5%、「時々やっている」が 40.4%で、これを合計すると 90.9%の父親が育児に関わっていることとなります。前回の調査結果との比較では、今回僅かだが「よくやっている」が 3.4 ポイント増加しています。(3～6か月児健診調査)

3～6か月児健診調査



2 中間評価結果

令和2年度母子保健部会で承認
を得ています。

(1) 評価の概要

全体で38指標の評価を実施した結果、38指標のうち24項目が改善傾向、7項目が悪化しています。

評価基準		評価数	割合
1①	改善した(目標を達成した)	7	18.4%
1②	改善した(目標に達していないが改善した)	17	44.7%
2	変わらない	5	13.2%
3	悪くなっている	7	18.4%
4	評価できない	2	5.3%
計		38	

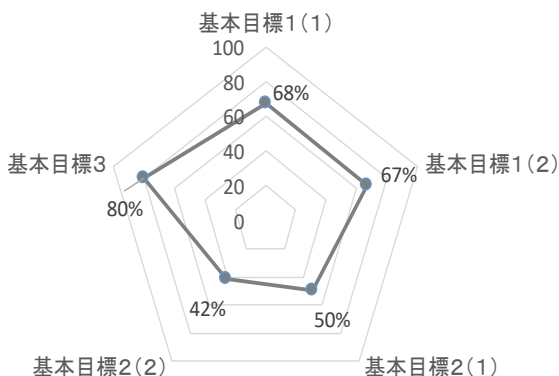
(2) 施策分野別・指標種類別の評価状況

令和2年度母子保健部会で提示した内容に加え、「健康水準」「健康行動」「環境整備」の種類別指標達成度を追加しました。

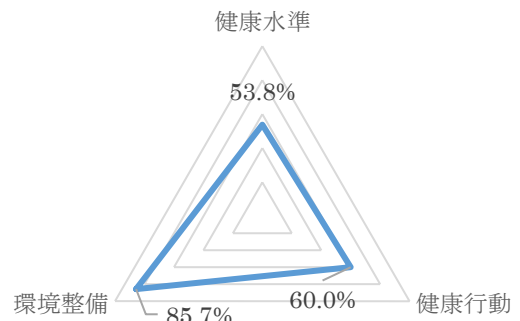
評価基準	基本目標1		基本目標2		基本目標3
	(1) 切れ目ない妊産婦・乳幼児の支援	(2) 妊娠期からの児童虐待防止対策	(1) 子育て・子育て・親育ちの支援	(2) 健やかな体と心をつくる学びの推進	(1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目ない支援
1①	7(28.0%)	2(33.3%)	1(25.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
1②	10(40.0%)	2(33.3%)	1(25.0%)	5(41.7%)	4(80.0%)
2	2(8.0%)	0(0.0%)	1(25.0%)	3(25.0%)	1(20.0%)
3	5(20.0%)	2(33.3%)	0(0.0%)	3(25.0%)	0(0.0%)
4	1(4.0%)	0(0.0%)	1(25.0%)	1(8.3%)	0(0.0%)

改善傾向にある指標の割合

* 「1①改善した(目標を達成した)」と「1②改善した(目標に達していないが改善した)」を改善傾向にある指標と分類



指標の種類別達成度



* 「健康水準」…QOLを含む市民の保健水準
 * 「健康行動」…保健水準達成のための市民一人ひとりが取り組むべき事項
 * 「環境整備」…事業の実施、サービスの提供、施設・設備の整備等資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与しうる取組

令和2年度母子保健部会で承認された内容に、
指標の達成度と種類別を追記しました。

(3) 基本目標・施策分野別・種類別指標一覧

指標番号	指標名	達成度	種類別		
			健康水準	健康行動	環境整備
基本目標1：安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち					
施策分野(1)：切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援 指標の数 25個					
指標1	妊娠・出産について満足している者の割合	1②	●		
指標2	むし歯のない3歳児の割合	1①	●		
指標3	妊娠中の妊婦の喫煙率	1②		●	
指標4	育児期間中の両親の喫煙率(母)	1②		●	
指標5	育児期間中の両親の喫煙率(父)	1②		●	
指標6	妊娠中の妊婦の飲酒率	1②		●	
指標7	乳幼児健康診査の未受診率	3		●	
指標8	乳幼児健康診査の満足度(★)	1①			●
指標9	仕上げ磨きをする親の割合	1②		●	
指標10	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	1②	●		●
指標11	仕事を持つ妊婦の割合(★)	1①	●		●
指標12	地域の人からの声かけ状況(★)	3			●
指標13	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	1①			●
指標14	ハイリスク妊婦の割合(★)	3	●		
指標15	特定妊婦の割合(★)	3	●		
指標16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	1①			●
指標17	新生児訪問の実施率(★)	1①			●
指標18	積極的に育児をしている父親の割合	1①		●	
指標19	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	4	●		
指標20	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	1②	●		
指標21	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	2		●	
指標22	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	2	●	●	
指標23	朝食を子どものみで食べている児の割合	3	●	●	
指標24	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	1②	●	●	
指標25	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	1②	●		
施策分野(2)妊産婦からの児童虐待防止対策 指標の数 6個					
指標14	ハイリスク妊婦の割合(★)	3	●		
指標15	特定妊婦の割合(★)	3	●		
指標16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	1①			●
指標17	新生児訪問の実施率(★)	1①			●
指標26	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	1②	●	●	
指標27	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	1②	●		
基本目標2：子どもの育ちと子育てを支え合うまち					
施策分野(1)子育て・子育て・親育ちの支援 指標の数 4個					
指標18	積極的に育児をしている父親の割合	1①		●	
指標19	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	4	●		
指標20	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	1②	●		
指標21	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	2		●	
施策分野(2)健やかな体と心をつくる学びの推進 指標の数 12個					
指標22	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	2	●	●	
指標23	朝食を子どものみで食べている児の割合	3	●	●	
指標28	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	2		●	
指標29	十代の人工妊娠中絶率	2	●	●	
指標30	十代の性感染症罹患率(HIV抗体検査他性感染症検査結果より)	4	●		
指標31	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	1②	●		
指標32	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	3	●		
指標33	歯肉に炎症がある十代の割合	3	●	●	
指標34	十代の喫煙率	1②	●	●	
指標35	十代の飲酒率	1②	●	●	
指標36	朝食を欠食する小中学生の割合	1②	●	●	
指標37	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1②	●	●	
基本目標3：配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち					
施策分野(1)：配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援 指標の数 5個					
指標24	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	1②	●	●	
指標25	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	1②	●		
指標26	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	1②	●	●	
指標27	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	1②	●		
指標38	母が育てにくさを感じている割合(★)	2	●	●	

※ (★)を付記した指標は、計画策定当時に【柏市独自】に挙げた内容であり、その他は【健やか親子21(第2次)】における指標と同内容である。

(4) 指標の達成状況と評価

38指標毎にベースライン値，目標値と直近値と照らし合わせ，以下の区分に基づき，達成状況を判定しました。更なる推進を目指し，最終目標値，指標等の見直し結果を示しています。

※ (★)を付記した指標は，計画策定当時に【柏市独自】に挙げた内容であり，その他は【健やか親子21(第2次)】における指標と同内容である。

※ _____ 中間評価により修正した数値，項目

【中間評価における判定区分】

- 1 ① 改善した (目標を達成した)
- 1 ② 改善した (目標に達成していないが改善した)
- 2 変わらない
- 3 悪くなっている
- 4 評価できない

指標番号	指標名	策定時		中間評価		最終評価 目標値 10年後 (令和6年度)	指標等の 見直し
		ベースライン値 (計画策定当時 平成26年度)	目標値 5年後 (令和元年度)	直近値 (令和元年度)	達成度		
1	妊娠・出産について満足している者の割合	91.1%	93.0%	91.3%	1 ②	95.0%	
2	むし歯のない3歳児の割合	82.7%	85.0%	88.2%	1 ①	90.0%	
3	妊娠中の妊婦の喫煙率	2.6%	0%	1.6%	1 ②	0%	
4	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児：4.6% 1歳6か月児：6.5% 3歳児：9.7%	3~6か月児：0% 1歳6か月児：0% 3歳児：0%	3~6か月児：2.4% 1歳6か月児：4.7% 3歳児：4.8%	1 ②	3~6か月児：0% 1歳6か月児：0% 3歳児：0%	
5	育児期間中の両親の喫煙率(父)	32.0%	15.0%	26.6%	1 ②	0%	
6	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	0%	1.1%	1 ②	0%	
7	乳幼児健康診査の未受診率	3~6か月児：9.6% 1歳6か月児：8.2% 3歳児：10.7%	3~6か月児：1.5% 1歳6か月児：5.0% 3歳児：7.0%	3~6か月児：9.0% 1歳6か月児：10.2% 3歳児：13.5%	3	3~6か月児：3.0% 1歳6か月児：10.2% 3歳児：13.5%	○
8	乳幼児健康診査の満足度(★)	1歳6か月児：78.5% 3歳児：80.8% ※1	1歳6か月児：80.0% 3歳児：83.0%	1歳6か月児：94.6% 3歳児：95.7% ※2	1 ①	1歳6か月児：83.0% 3歳児：85.0%	○
9	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児：69.6% 3歳児：96.3%	1歳6か月児：85.0% 3歳児：100%	1歳6か月児：72.8% 3歳児：83.6%	1 ②	1歳6か月児：100% 3歳児：100%	
10	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合	3~6か月児：96.7% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：91.2%	3~6か月児：97.0% 1歳6か月児：94.0% 3歳児：92.0%	3~6か月児：88.2% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：93.3%	1 ②	3~6か月児：98.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	
11	仕事を持つ妊婦の割合(★)	53.9%	56.0%	64.3%	1 ①	<u>70.0%</u>	○
12	地域の人からの声かけ状況(★)	3~6か月児：77.7% 1歳6か月児：88.8% 3歳児：83.3%	3~6か月児：84.0% 1歳6か月児：90.0% 3歳児：88.0%	3~6か月児：74.0% 1歳6か月児：79.5% 3歳児：80.0%	3	3~6か月児：90.0% 1歳6か月児：93.0% 3歳児：90.0%	
13	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	41.4%	100%	100%	1 ①	100%	
14	ハイリスク妊婦の割合(★)	11.0%	9.0%	20.1%	3	8.0%	○
15	特定妊婦の割合(★)	2.9%	減少	6.6%	3	減少	○
16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	68.6%	80.0%	96.2%	1 ①	<u>97.0%</u>	○

指標番号	指標名	策定時		中間評価		最終評価 目標値 10年後 (令和6年度)	指標等の 見直し
		ベースライン値 (計画策定当時 平成26年度)	目標値 5年後 (令和元年度)	直近値 (令和元年度)	達成度		
17	新生児訪問の実施率(★)	51.9%	70.0%	83.6%	1①	95.0%	
18	積極的に育児をしている父親の割合	47.1%	50.0%	50.5%	1①	55.0%	
19	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3~6か月児：59.3% 1歳6か月児：81.1% 3歳児：80.6%	3~6か月児：72.0% 1歳6か月児：88.0% 3歳児：88.0%	-	4	3~6か月児：85.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	○
20	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	56.9%	63.0%	61.0%	1②	65.0%	
21	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	3~6か月児：40.8% 1歳6か月児：48.4% 3歳児：37.3%	3~6か月児：45.0% 1歳6か月児：50.0% 3歳児：43.0%	3~6か月児：44.8% 1歳6か月児：44.8% 3歳児：32.1%	2	3~6か月児：50.0% 1歳6か月児：55.0% 3歳児：48.0%	
22	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	48件/3,551件 (1.35%)	減少 (1%未満)	44件/3,215件 (1.35%)	2	減少 (1%未満)	
23	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児：8.2% 3歳児：8.2%	1歳6か月児：6.5% 3歳児：6.5%	1歳6か月児：14.2% 3歳児：7.3%	3	1歳6か月児：5.0% 3歳児：5.0%	○
24	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児：82.1% 1歳6か月児：78.2% 3歳児：70.8%	3~4か月児：89.0% 1歳6か月児：88.0% 3歳児：83.0%	3~4か月児：89.5% 1歳6か月児：84.0% 3歳児：77.9%	1②	3~4か月児：95.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	
25	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3~4か月児：88.3% 1歳6か月児：89.3% 3歳児：84.6%	3~4か月児：90.0% 1歳6か月児：90.0% 3歳児：90.0%	3~4か月児：89.1% 1歳6か月児：97.7% 3歳児：86.9%	1②	3~4か月児：95.0% 1歳6か月児：95.0% 3歳児：95.0%	
26	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3~4か月児：10.0% 1歳6か月児：36.0% 3歳児：58.5%	3~4か月児：5.0% 1歳6か月児：18.0% 3歳児：25.0%	3~4か月児：1.2% 1歳6か月児：18.3% 3歳児：39.6%	1②	3~4か月児：0% 1歳6か月児：0% 3歳児：0%	○
27	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	96.9%	1②	100%	
28	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.0%	74.2%	2	85.0%	
29	十代の人工妊娠中絶率	(平成24年度) 3.8(人口千対)	7.5(人口千対)	3.2(人口千対)	2	3.0(人口千対)	○
30	十代の性感染症罹患率	性器クラミジア・淋菌感染症・尖圭コンジローマ・性器ヘルペス 4.0%	減少	・性器クラミジア 2 ・淋菌感染症 1 ・尖圭コンジローマ 1.67 ・性器ヘルペス 0.33 ・梅毒(実数) 14 (内10代は0)	4	減少	○
31	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成25年度) 小学生：1.2% 中学生：2.5%	小学生：減少 中学生：2.0%	小学生：1.2% 中学生：2.7%	1②	小学生：減少 中学生：1.0%	
32	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生：6.7% 中学生：7.5%	小学生：減少 中学生：減少	小学生：7.6% 中学生：8.7%	3	小学生：減少 中学生：7.0%	
33	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生：12.3% 中学生：16.5%	小学生 12.0% 中学生 15.0%	小学生：14.7% 中学生：19.7%	3	小学生 11.0% 中学生 14.0%	○
34	十代の喫煙率	小学6年生：2.0% 中学3年生：3.1%	0%	(平成29年度) 小学6年生：1.1% 中学3年生：1.1%	1②	0%	
35	十代の飲酒率	小学6年生：25.1% 中学3年生：23.6%	0%	(平成29年度) 小学6年生：16.6% 中学3年生：14.6%	1②	0%	
36	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生：8.5% 中学2年生：10.9%	小学5年生 5.0% 中学2年生 7.0%	小学5年生：6.7% 中学2年生：9.0%	1②	小学5年生 3.0% 中学2年生 5.0%	
37	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1歳6か月児：81.4% 3歳児：75.0%	1歳6か月児：79.0% 3歳児：84.0%	1歳6か月児：86.6% 3歳児：73.8%	1②	1歳6か月児：85.0% 3歳児：88.0%	
38	母が育てにくさを感じている割合(★)	3~6か月児：21.4% 1歳6か月児：24.6% 3歳児：33.0%	3~6か月児：16.0% 1歳6か月児：20.0% 3歳児：27.0%	3~6か月児：23.8% 1歳6か月児：18.7% 3歳児：33.0%	2	3~6か月児：10.0% 1歳6か月児：16.0% 3歳児：22.0%	

令和2年度第1回母子保健部会にて承認いただいた骨子案に沿って、本目標・施策分野別に評価と課題をまとめました。

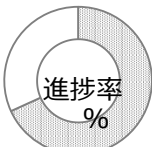
3 基本目標・施策分野別にみた評価と課題

基本目標・施策分野別に、評価の指標・事業評価より見えてきた課題についてまとめます。

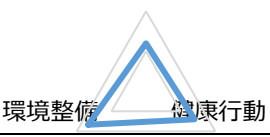
【基本目標・施策分野別にみた評価と課題 詳細の見方】

(1) 指標の評価

○指標の達成率や達成した指標・悪化した指標を示します。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	施策分野に該当する指標の評価基準を示しています。 進捗率では1 ①，1 ②に該当する指標の割合を示しています。		指標総数： 指標
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）			
2 変わらない			
3 悪くなっている			
4 評価できない			
計			

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	評価基準毎に指標名を示しています。
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	
2 変わらない	
3 悪くなっている	
4 評価できない	

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	指標の種類別に、評価基準毎に示しています。 達成度では、指標の種類別に1 ①，1 ②に該当する指標の割合を示しています。			健康水準
1 ①改善した（目標を達成した）				
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）				
2 変わらない				
3 悪くなっている				
4 評価できない				

* 指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 調査結果

○悪化した指標・改善した指標などを中心にトピックとなる指標を中心に分析を行います。
 38 項目の指標とニーズ調査結果から関連する項目を分析し、特に特徴が見えたものを示します。

議事2	「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について（資料4：P20～47）
審議内容	承認いただいた骨子案に沿って、各目標・施策分野別に事業評価と課題をまとめました。中間評価結果をふまえ、 事業評価や課題について 、ご意見ご助言をお願いします。

(3) 事業評価

○計画策定時、該当する施策分野の推進事業に位置付けた事業のうち、評価や課題につながるものについて、実績や評価をまとめます。

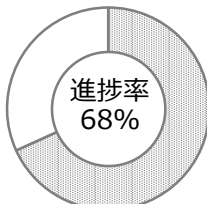
(4) 課題

○指標の推移、調査結果、事業評価等から見えてきた課題について、まとめます。

基本目標 1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち 施策分野（1）切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援

（1）指標の評価

○基本目標 1 施策分野（1）に該当する 25 指標のうち、改善した指標は 17 指標の 68% でした。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	7	28.0%	指標総数：25 指標  進捗率 68%
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	10	40.0%	
2 変わらない	2	8.0%	
3 悪くなっている	5	20.0%	
4 評価できない	1	4.0%	
計	25		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	指標 2 むし歯のない3歳児の割合 指標 8 乳幼児健康診査の満足度 指標 11 仕事を持つ妊婦の割合 指標 13 妊娠届時の保健師等による面談率 指標 16 乳児家庭全戸訪問事業での面談率 指標 17 新生児訪問の実施率 指標 18 積極的に育児をしている父親の割合
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	指標 1 妊娠・出産について満足している者の割合 指標 3 妊娠中の妊婦の喫煙率 指標 4 育児期間中の両親の喫煙率（母） 指標 5 育児期間中の両親の喫煙率（父） 指標 6 妊娠中の妊婦の飲酒率 指標 9 仕上げ磨きをする親の割合 指標 10 今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合 指標 20 子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合 指標 24 ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合 指標 25 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合
2 変わらない	指標 21 地域のつどい等に参加している者の割合 指標 22 若年妊婦による妊娠届け出数
3 悪くなっている	指標 7 乳幼児健康診査の未受診率 指標 12 地域の人からの声掛け状況 指標 14 ハイリスク妊婦の割合 指標 15 特定妊婦の割合 指標 23 朝食を子どものみで食べている児の割合
4 評価できない	指標 19 子どものかかりつけ医師を持つ親の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	10	10	6	健康水準 60.0% 83.3% 70.0% 健康水準 環境整備 健康行動
1 ①改善した（目標を達成した）	2	1	4	
1 ②改善した（目標に達していないが改善した）	4	6	1	
2 変わらない	1	2		
3 悪くなっている	2	1	1	
4 評価できない	1			

* 指標の種類が 2 種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 調査結果

基本施策①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備,

②乳幼児期の健やかな成長の支援

- ・助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けた人ほど妊娠・出産に満足している割合が高い傾向があります。(P25 図表 1-1)
- ・妊娠・出産に関わる各項目の満足度では、「病院・助産院等のスタッフの対応」「病院・助産院等の設備」といった出産環境や、「家族の援助など家庭環境」の満足度が高い傾向があり、妊娠・出産・育児についての不安への対応や家族の援助などの家庭環境に満足している人の割合は、計画策定時と比べ大きく上昇しています。(P25 図表 1-2)
- ・助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けた人ほど、柏市で子育てをしたいと希望する割合が高い傾向があります。(P25 図表 1-3)

基本施策③地域ぐるみの子育て支援の充実

- ・子育てに満足している人ほど、父親の育児参加が多い傾向があります。(P25 図表 1-4)
- ・子育てに満足している人は、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が高い傾向があります。(P26 図表 1-5)
- ・子育てに満足している人は、柏市で子育てをしたいと希望する割合が高い傾向があります。(P26 図表 1-6)
- ・親子で集える場所によく行く人は、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある割合が高い傾向があります。(P26 図表 1-7)
- ・育てにくさを感じていない人ほど、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が高い傾向があります。(P26 図表 1-8)
- ・地域の人からの声かけがある人は、ない人に比べ、柏市で子育てをしたいと希望する割合が高い傾向があります。(P27 図表 1-9)
- ・居住年数が5年未満、市外からの転入者で、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が低い傾向があります。(P27 図表 1-10)
- ・北部では、他のゾーンに比べ、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が低い傾向があります。(P27 図表 1-11)

基本施策④災害等における危機管理体制の整備

- ・災害に備えている人の割合は5割から6割でした。(P27 図表 1-12)

(3) 事業評価

議事2 「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

○妊娠子育て相談センターにおける妊娠届出時の全数面接や新生児訪問等の実施により、妊娠期から継続した早期支援体制ができました。

基本施策①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備

利用者支援事業（母子保健型）：柏市妊娠子育て相談センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合相談支援を関係機関と連携して実施しています。妊娠届出時専門職による面接は、計画策定時 41.5%でしたが、平成29年10月より全数面接を実施し、助産師や保健師等の支援の充実を図りました。全数面接では GAD-2 やウイスリー質問票を使用し要支援者の早期把握を行ったことにより、ハイリスク妊婦・特定妊婦割合は年々増加しています。（P27 図表1-13）特にこころの問題を抱える妊婦の割合が増加しており、令和元年度から産科医療機関との定期的カンファレンスや、周産期メンタルヘルスカンファレンスを開催し、関係機関との連携を強化しました。関係機関からのサマリー件数も増加しています。

利用者支援事業(基本型)では、乳幼児の親子を対象に、市内2か所の地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば沼南・はぐはぐひろば若柴）で子育て支援アドバイザーによる相談を実施しています。

基本施策②乳幼児期の健やかな成長の支援

妊娠期からの育児支援や父親の育児参加の推進として、従来実施していた「ママパパ学級」を平成30年度から参加者主体の産前・産後サポート事業デイサービス型「ママパパサロン」に見直しました。参加者アンケートでは「安心して出産・育児を迎えられるようになった」人が99%に上っています。

新生児訪問では第2子以降は希望者のみを対象としていましたが、平成29年4月から乳児全戸家庭訪問事業として新生児がいる全家庭を対象として実施しています。訪問では、産後うつの早期発見スクリーニング指標を用い、子どもの成長だけでなく母親の気持ちや育児負担感について丁寧に聞き取り、支援が必要な人には早期支援につなげています。

平成30年4月には8か月児相談事業を新規に開始し、保健師・栄養士・歯科衛生士等の専門職による相談体制を充実させ、母子保健法改正により令和3年度より市町村に義務化された産後ケア事業についても、他の母子保健事業との連携を強化した事業展開を行っています。

妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発に関しては、子育て支援サイト「はぐはぐ柏」や電子親子手帳、各事業等、多様な暮らしや子どもの発達に合わせた情報提供を行っています。保護者の就労や緊急時対応、保護者のリフレッシュ等多様な保育需要に対応した一時預かりの体制整備を行い、積極的に情報提供をしています。

基本施策③地域ぐるみの子育て支援の充実

柏市民健康づくり推進員活動を中心に、地域の特性に合わせた活動を実施しています。市内 20 地域で 1 歳 6 か月頃までの子どもと保護者を対象に、親子触れ合いの場として「母と子のつどい」を年間約 200 回程度開催しています。また、3～4 か月頃の子どものいる家庭には、柏市民健康づくり推進員が赤ちゃん訪問を実施し、地域情報の提供と声かけを行い、育児の孤立化を防いでいます。

基本施策④災害等における危機管理体制の整備

妊娠届出時に「あかちゃんとママを守る防災ノート」を配布し、災害に備えるきっかけづくりや自助の大切さを啓発しています。災害等における危機管理体制の整備に関しては、「柏市地域防災計画」に基づいて推進し、停電時の在宅人工呼吸器使用者安否確認のためのデータ整備や活用を行っています。

議事 2 「第 2 章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

(4) 課題

<増加するハイリスク妊婦や特定妊婦への切れ目ない支援>

助産師・保健師の十分な指導・ケアを受けた人は妊娠・出産に満足している割合が高く、柏市で子育てをしたいと希望する割合が高いことが調査で示され、妊娠出産の満足度に助産師・保健師の十分な指導・ケアが重要であることが分かりました。

一方、ハイリスク妊婦・特定妊婦割合は年々増加傾向にあり、助産師・保健師の十分な指導・ケアを切れ目なく受けることができる支援体制強化が必要です。

ハイリスク妊婦・特定妊婦の割合では、こころの問題を抱える妊婦の占める割合が増加していることから、関係機関と連携をした周産期メンタルヘルスの取り組み推進が重要です。また、外国人の割合は増加しているため外国人対応強化も必要であり、支援が必要な家庭には多重課題・困難課題を抱える家庭もあるため、ケースワークする力や他機関と連携できるマンパワー確保・人材育成が課題です。

妊娠子育て相談センターは、本庁・柏駅前・沼南庁舎・ウェルネス柏の 4 か所に整備しており、北部方面には整備されていません。北部ゾーンは中央・南部ゾーンに比べて、外出時に声掛けしてくれる近所の人がいる割合が低い傾向が示されていますが、地域別妊娠届出数では北部ゾーンに位置する田中地域が約 2 割を占めています。今後は、北部方面の支援体制整備が課題となっています。(P27 図表 1-14)

<乳幼児健康診査の未受診者への対応>

指標 7 乳幼児健康診査の未受診率は、1 歳 6 か月児健康診査・3 歳児健康診査ともに上

昇傾向であり、評価基準は悪くなっているに該当しています。今後は、受診率を向上させることはもとより、未受診者の疾病の早期発見・発達状況や育児状況の把握を確実にを行い、必要に応じ支援につなげる体制強化が必要です。

<地域ぐるみの子育て支援強化>

子育てに満足している人は外出時に声掛けしてくれる近所の人がいる割合が高い傾向があり、親子で集える場所によく行く人は、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある割合が高い傾向があり、身近な地域でのかかわりが子育て支援に重要な役割を果たしていることが調査でわかりました。

また、居住年数5年未満の人は、居住年数5年以上の人より、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が低い傾向があります。特に、転入者が多い地域や新興住宅地域における地域の子育て支援の強化が必要です。

身近な地域でのかかわりが子育て支援に重要な役割を果たしている一方、新型コロナウイルス感染症等対策のための「新しい生活様式」を踏まえた地域とのつながりや、スマートフォンなどの様々なデバイスを活用した「オンライン」による支援を検討していく必要があります。

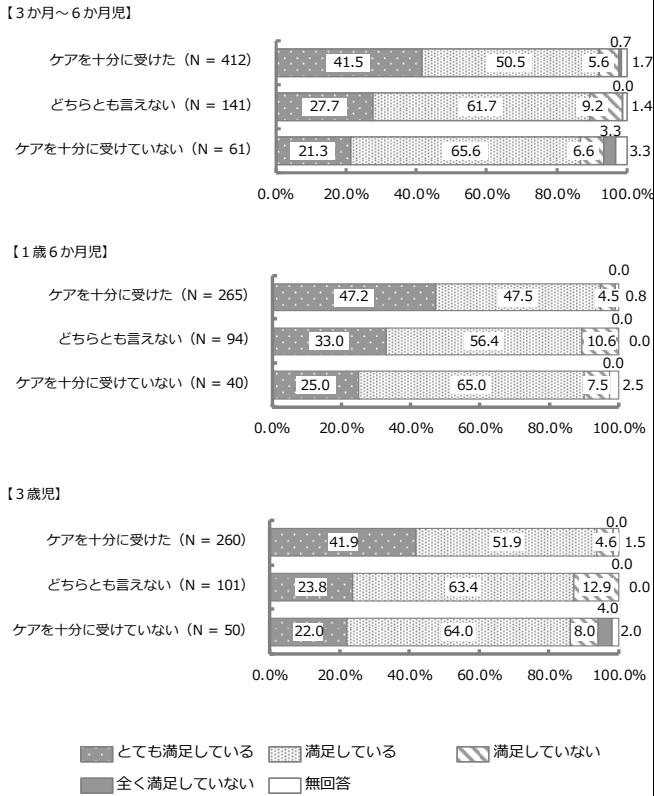
<父親の育児参加への支援>

子育てに満足している人ほど父親の育児参加が多い傾向があり、出産、育児への父親の積極的な関わりが重要なことが示されています。健やか親子（第2次）報告では、父親の産後うつ対策が課題として取り上げられており、父親の育児参加への支援の充実が必要です。

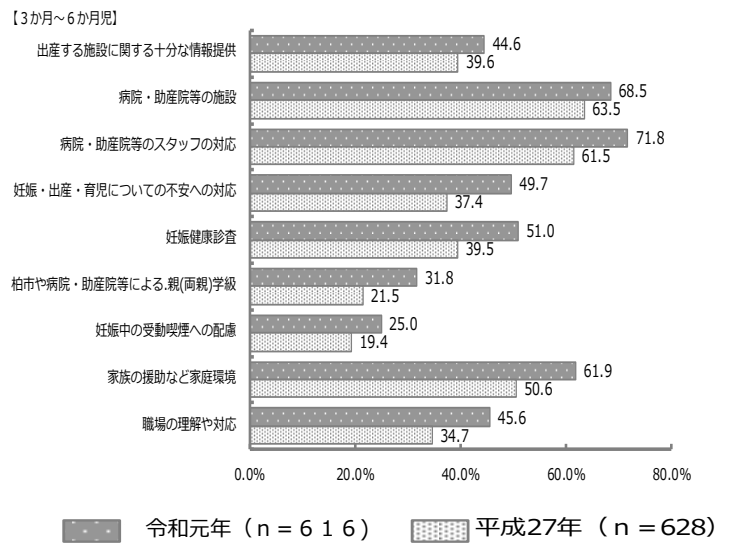
<災害等における危機管理体制の強化>

妊娠中や産後の女性や乳幼児は、災害時に特別な支援が必要とされるため、妊娠届け出時に「あかちゃんとママを守る防災ノート」を配布し、災害に備えることのきっかけづくりや自助の大切さを啓発しています。しかし、災害に備えている人の割合は5割から6割に留まっています。防災について、市民ひとりひとりが具体的に考えられるよう啓発を強化していく必要があります。今後は、「柏市地域防災計画」に基づき、関係機関と連携を強化した体制整備が求められます。また、新型コロナウイルス感染症だけでなく新興感染症は発生する恐れがあり、感染拡大防止のための情報提供や対策の推進も必要です。

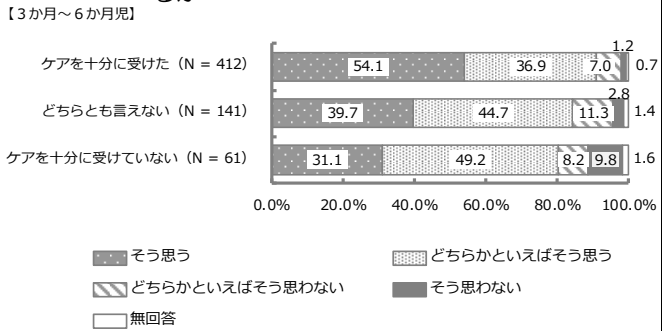
図表 1-1 助産師や保健師等からの指導・ケアの有無別 妊娠・出産への満足度



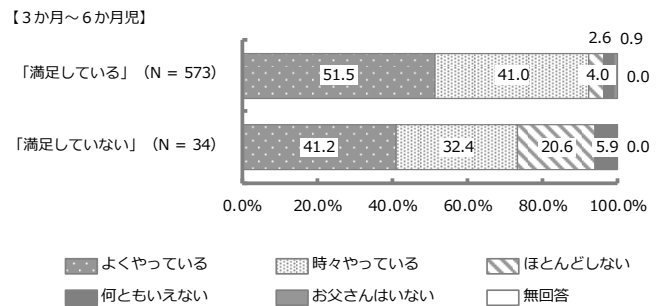
図表 1-2 妊娠・出産に関わる各項目の満足度



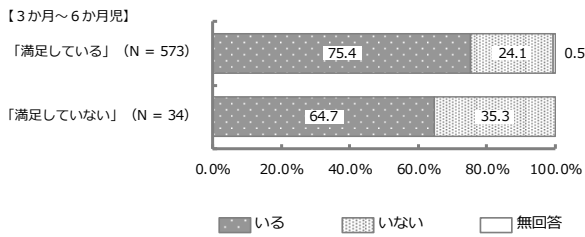
図表 1-3 助産師や保健師等からの十分な指導・ケアの有無別、柏市で子育てをしたいと希望するか



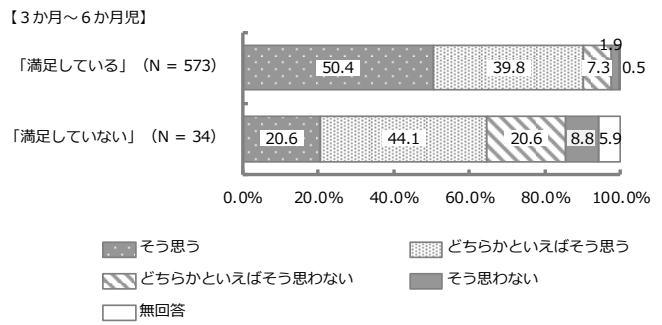
図表 1-4 子育てへの満足度別、父親の育児参加状況



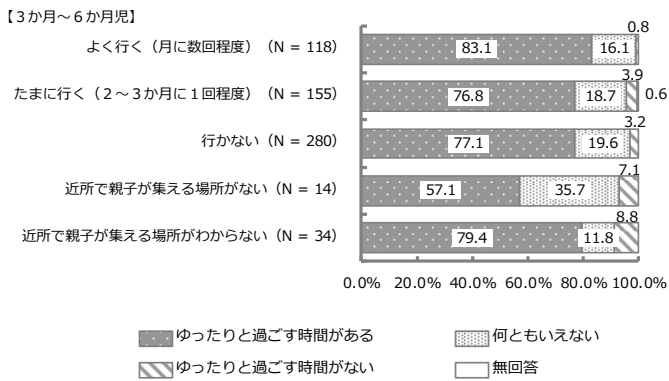
図表 1-5 子育ての満足度別，外出時に声掛けしてくれる近所の人の有無



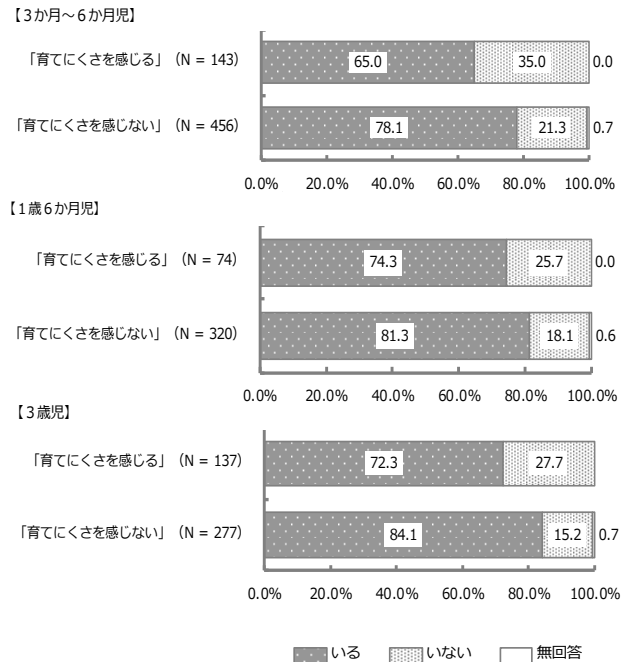
図表 1-6 子育てへの満足度別，柏市で子育てをしたいと希望するか



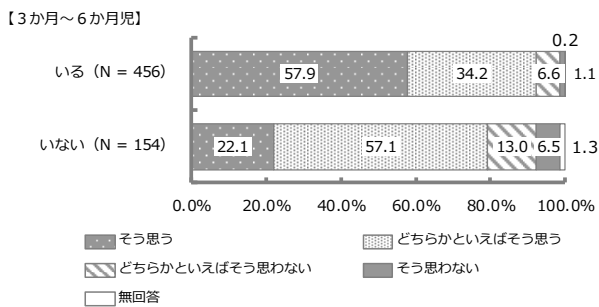
図表 1-7 親子で集える場所の利用頻度別，母親のゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無



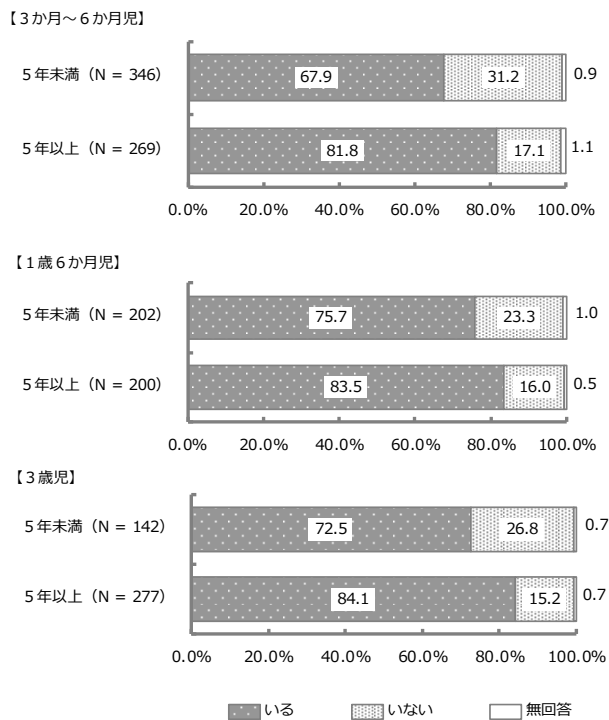
図表 1-8 育てにくさの程度別，声をかけてくれる近所の人の有無



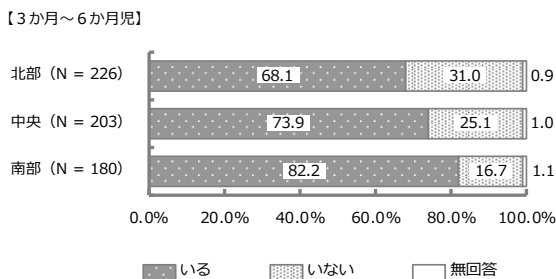
図表 1-9 声をかけてくれる近所の人の有無別，柏市で子育てをしたいと希望するか



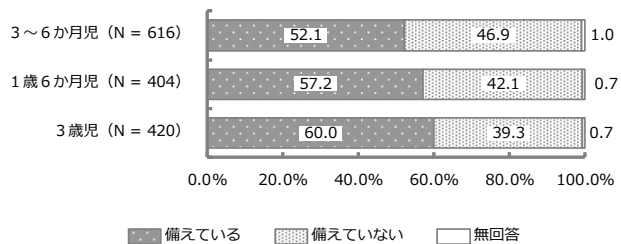
図表 1-10 居住年数別，声をかけてくれる近所の人の有無



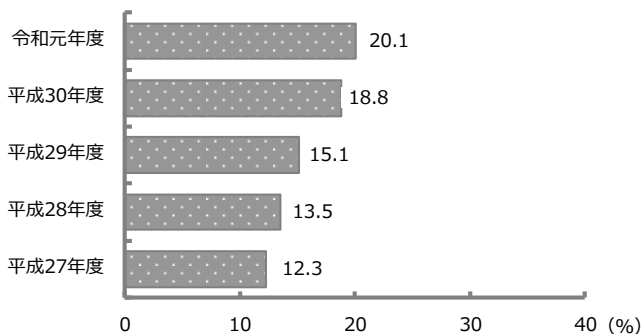
図表 1-11 ゾーン別 声をかけてくれる近所の人の有無



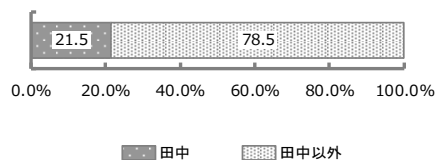
図表 1-12 災害に備えている人の割合



図表 1-13 ハイリスク妊婦（特定妊婦含む）の推移



図表 1-14 令和元年度地域別妊娠届出数

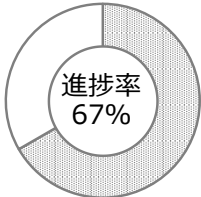


田中地域は北部ゾーンに位置する新興住宅地を含む地域です。柏の葉キャンパス駅・柏たなか駅の周辺地域が含まれており、子育て世代の流入が多い地域です。他の地域の妊娠届出数の平均は約 4.1%です。

基本目標 1 安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち 施策分野（2）妊娠期からの児童虐待防止対策

（1）指標の評価

○基本目標 1 施策分野（2）に該当する 6 指標のうち、改善した指標は 4 指標の 67% でした。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	2	33.3%	指標総数：6 指標  進捗率 67%
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	2	33.3%	
2 変わらない	0	0.0%	
3 悪くなっている	2	33.3%	
4 評価できない	0	0.0%	
計	6		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	指標 16 乳児家庭全戸訪問事業での面談率 指標 17 新生児訪問の実施率
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	指標 26 虐待の可能性のある行為をしている親の割合 指標 27 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の
3 悪くなっている	指標 14 ハイリスク妊婦の割合 指標 15 特定妊婦の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	4	1	2	指標の種類別達成度
1 ①改善した（目標を達成した）			2	
1 ②改善した（目標に達していないが改善した）	2	1		
2 変わらない				
3 悪くなっている	2			
4 評価できない				

* 指標の種類が 2 種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

（2）調査結果

基本施策①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援， ②地域の医療，福祉，保育機関等との連携

- ・虐待の可能性のある行為をしている親の割合はいずれの年代でも減少しているものの、3 歳児で約 4 割となっています。（P30 図表 1 -15）

(3) 事業評価

議事2 「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

○妊娠子育て相談センターにおける妊娠届出時の全数面接や、新生児訪問等の実施により、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行い、関係機関と連携した児童虐待防止を実施しました。

基本施策①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援

平成29年10月より、市内4か所の妊娠子育て相談センターにて、妊娠届出時に質問票を用いて丁寧に全数面接を実施しています。ハイリスク妊婦・特定妊婦割合は年々増加していますが、産科医療機関等関係機関と連携した早期支援につながっています。平成30年10月には、利便性の良い駅前に「すこやかプチルーム」を整備し、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士が対応できるよう、センターの相談機能を強化しました。

新生児訪問は、平成29年4月から乳児全戸家庭訪問事業として新生児がいる全家庭を対象にした結果、乳幼児家庭全戸訪問事業面談率や新生児訪問実施率は増加し、中間評価目標を達成しています。訪問時は、産後うつ等の早期発見スクリーニング指標を用い、子どもの成長だけでなく母親の気持ちや育児負担感について丁寧に聞き取り、支援が必要な人を早期に支援につなげています。

基本施策②地域の医療、福祉、保育機関等との連携

こども部では、家庭児童相談事業として平成30年4月「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、支援が必要な子どもや家庭の相談に応じ、児童虐待の防止と相談対応等を強化しました。特に支援が必要な家庭には、要保護児童対策地域協議会にて関係機関と情報共有、役割分担しながら支援をしています。(P30 図表1-16)

(4) 課題

議事2 「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

＜増加するハイリスク妊婦や特定妊婦の切れ目のない支援＞

ハイリスク妊婦・特定妊婦の割合や家庭児童相談件数は年々増加傾向にあり、妊娠期から早期に支援を開始し、関係機関と連携をした支援強化が求められます。ハイリスク妊婦・特定妊婦の割合では、こころの問題を抱える妊婦の占める割合が増加していることから、関係機関と連携をした周産期メンタルヘルスの取り組み推進が重要です。

支援が必要な家庭には多重課題・困難課題を抱える家庭もあるため、ケースワークする力や他機関と連携できるマンパワー確保・人材育成が課題です。

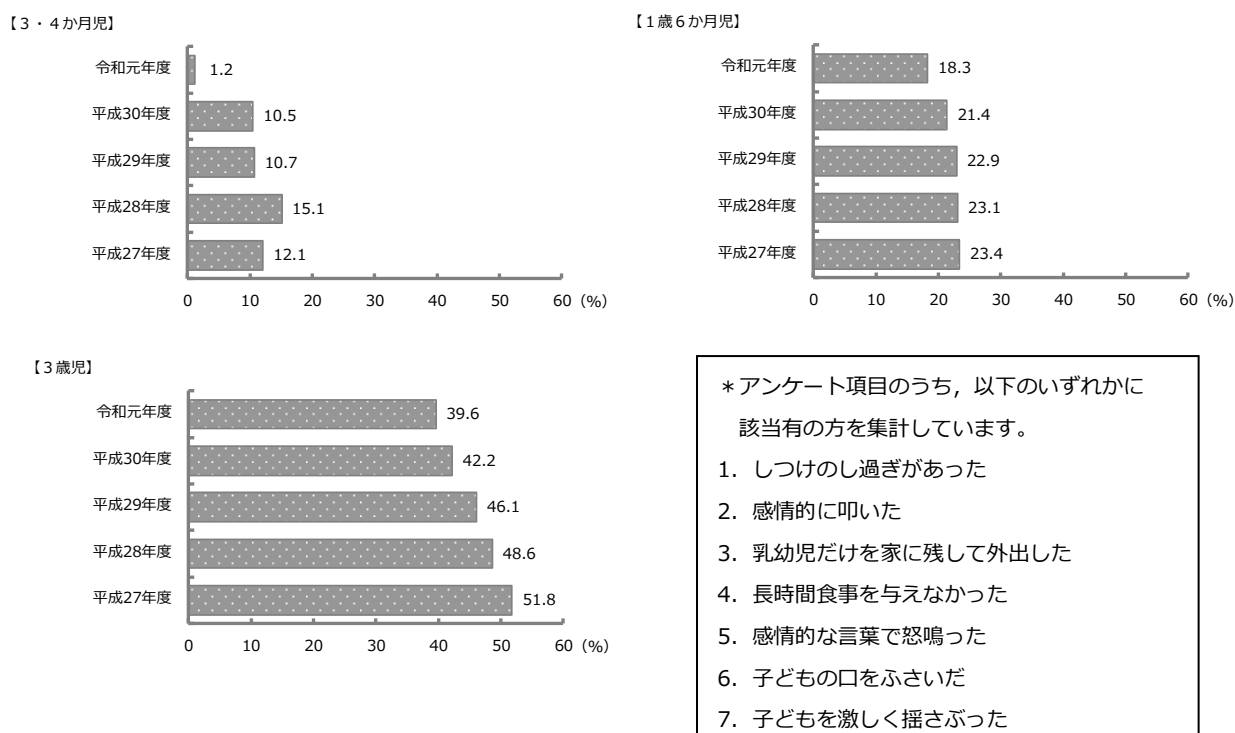
また、安心して子育てができるよう保護者に対する育児サポートや、母親への産前産後の心身ケア等、関係機関や関係課と連携したきめ細かな支援の強化が必要です。

<地域ぐるみの子育て支援強化>

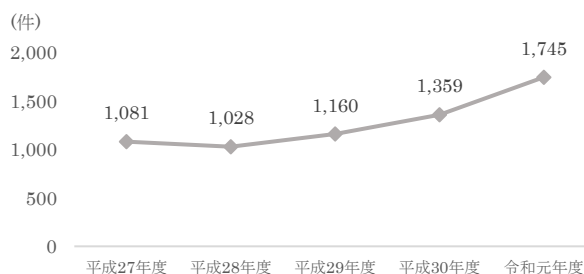
子育てに満足している人は外出時に声掛けしてくれる近所の人がいる割合が高い傾向があり、親子で集える場所によく行く人は、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある割合が高い傾向があり、身近な地域でのかかわりが子育て支援に重要な役割を果たしていることが調査でわかりました。

また、居住年数5年未満の人は、居住年数5年以上の人より、外出時に声掛けしてくれる近所の人いる割合が低い傾向があります。特に、転入者が多い地域や新興住宅地域における地域の子育て支援の強化が必要です。

図表 1-15 虐待の可能性のある行為をしている親の割合の推移



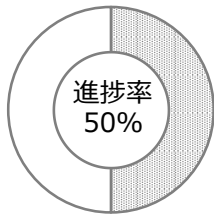
図表 1-16 家庭児童相談件数の推移



基本目標 2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち 施策分野（1）子育て・子育て・親育ちの支援

（1）指標の評価

○基本目標 2 施策分野（1）に該当する 4 指標のうち、改善した指標は 2 指標の 50% でした。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	1	25.0%	指標総数：4 指標  進捗率 50%
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	1	25.0%	
2 変わらない	1	25.0%	
3 悪くなっている	0	0.0%	
4 評価できない	1	25.0%	
計	4		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	指標 18 積極的に育児をしている父親の割合
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	指標 20 子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合
2 変わらない	指標 24 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
4 評価できない	指標 19 子どものかかりつけ医師を持つ親の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	2	2	指標なし	健康水準  50.0% 50.0% 環境整備 健康行動
1 ①改善した（目標を達成した）		1		
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	1			
2 変わらない		1		
3 悪くなっている				
4 評価できない	1			

* 指標の種類が 2 種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

（2）調査結果

基本施策①育児・健康等の不安の軽減、 ②地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携

- ・父親の育児への参加状況の頻度が多い人ほど、子育ての満足度が高くなっています。（P34 図表 2 - 1）
- ・父親の育児への参加状況の頻度が多い人ほど、母親のゆったりとした気分で子どもと過

ごす時間の割合が高くなっています。(P34 図表 2-2)

- ・父親が育児参加していても、子育ての状況に満足していない人、また、ゆったり過ごす時間のない人では、助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けていない人の割合が高くなっています。また、外出時に声掛けしてくれる近所の人がない人の割合が高くなっています。(P34 図表 2-3)

基本施策③子育て、子育て、親育ちに関する啓発・環境整備

- ・親子で集える場所へ行く頻度の多い人ほど、母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の割合が高くなっています。(P34 図表 2-4)
- ・親子で集える場所へ行く頻度の多い人ほど、母と子のつどい、子育てサロン等、子育て支援施設を子育ての相談の場として活用している傾向があります。(P35 図表 2-5)
- ・「近所で親子が集える場所がわからない」「近所で親子が集える場所がない」と回答する人が一定数います。(P35 図表 2-6)

(3) 事業評価

議事 2 「第 2 章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

- 幼児健康診査や電話相談等あらゆる機会において、子どもの発達段階に応じた子育て情報を提供し、関係機関と連携した子育て支援を実施しました。

基本施策①育児・健康等の不安の軽減

市内 2 か所の地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば沼南・はぐはぐひろば若柴）では、乳幼児の親子を対象に、交流や育児相談・情報提供・育児講座、子育て支援アドバイザーによる相談を実施しています。

平成 30 年 10 月に、利便性の良い駅前に「すこやかプチルーム」を整備しました。保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士等の専門職が対応し、妊娠子育て相談センターの相談機能を強化しました。

平成 30 年 4 月に、8 か月児相談事業を新規に開始し、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士等の専門職による相談体制を充実させました。

「にこにこダイヤルかしわ」は、子育ての専門ダイヤルとして妊娠届出時等で周知を強化した結果、相談件数は増加傾向にあります。継続的な支援が必要なケースは、相談者の了解を得て継続支援につなげています。

基本施策②地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携

地域ぐるみの子育て支援・健康づくりについては、柏市民健康づくり推進員活動を中心

に、地域の特性に合わせた活動を実施しています。特に子育て支援については、市内 20 地域で 1 歳 6 か月頃までの児と保護者を対象に、親子の触れ合いの場として「母と子のつどい」を年間約 200 回程度開催しています。3～4 か月頃のお子さんのいる家庭には、柏市民健康づくり推進員が赤ちゃん訪問を実施し、地域情報の提供と声かけを行い、育児の孤立化を防いでいます。

※「母と子のつどい」「柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問」は令和 2 年度より新型コロナウイルス感染症予防のため、休止しています。

基本施策③子育て、子育て、親育ちに関する啓発・環境整備

妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発に関しては、子育てサイト「はぐはぐ柏」や電子親子手帳、各事業にて、多様な暮らしや子どもの発達に合わせた情報提供を行っています。

(4) 課題

議事 2 「第 2 章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

<父親の育児参加への支援>

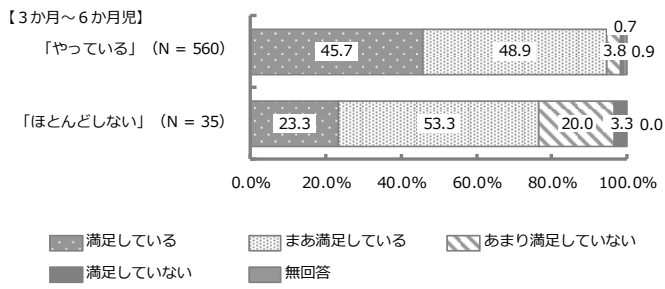
子育てに満足している人ほど父親の育児参加が多い傾向があり、出産、育児への父親の積極的な関わりが重要なことが示されています。健やか親子（第 2 次）報告では、父親の産後うつ対策が課題として取り上げられており、父親の育児参加への支援の充実が必要です。

<関係機関や関係課との連携の強化が必要>

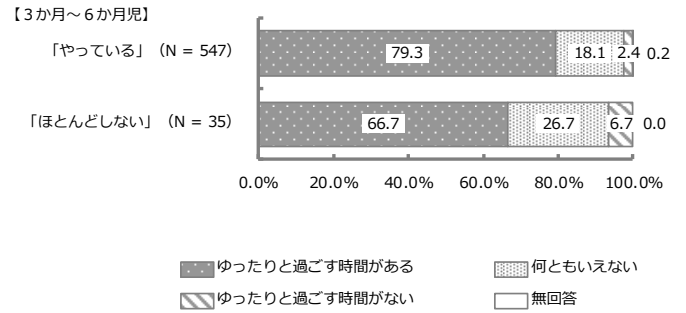
親子で集える場所へ行く頻度の多い人ほど、母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の割合が高く、また、母と子のつどい、子育てサロン等、子育て支援施設を子育ての相談の場として活用しています。関係機関や関係課と連携して、柏市民健康づくり推進員等市民とともに地域ぐるみの子育て支援を推進し、親子が気軽に集える場所を増やしていく必要があります。

調査では、親子が集える場所がわからないと回答した方が 2%～5%いることがわかり、情報が届いていない一定数の方への対応として、多様な媒体を活用した情報提供の検討が必要となります。

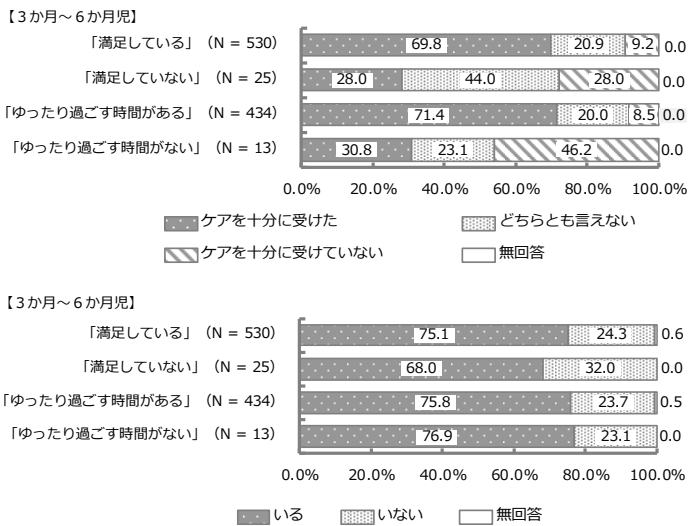
図表 2-1 父親の育児参加状況別 子育てへの満足度



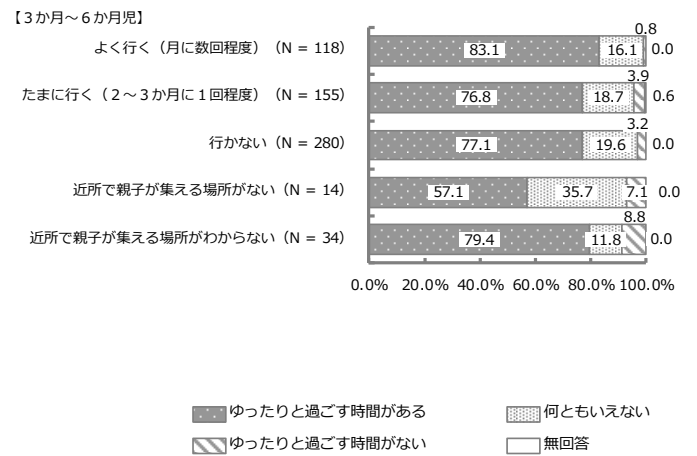
図表 2-2 父親の育児参加状況別 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の割合



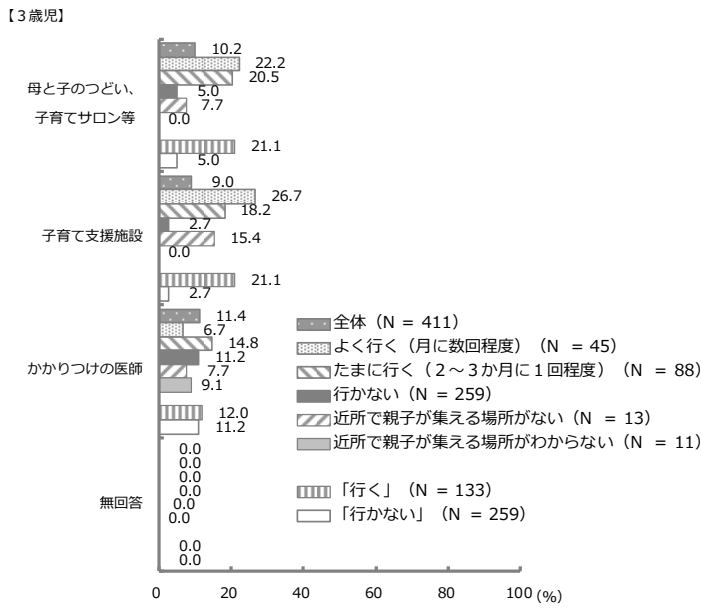
図表 2-3 子育ての状況への満足度、ゆったり過ごす時間の有無別 助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けた割合、声をかけてくれる近所の人の有無



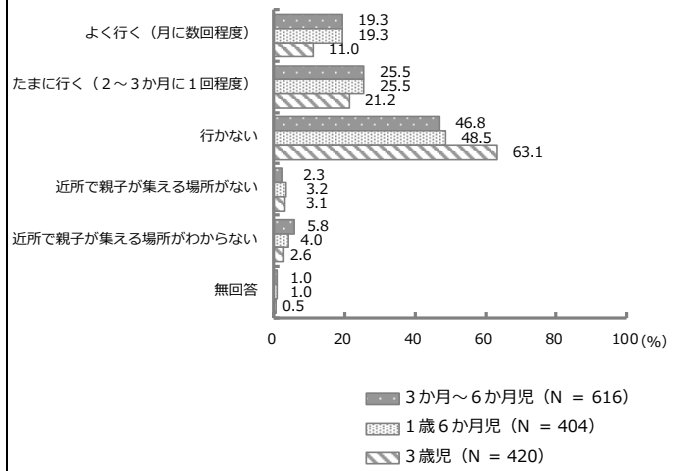
図表 2-4 親子で集える場所の利用頻度別 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の有無



図表 2-5 親子で集える場所の利用頻度別 母と子のつどい、子育てサロン等、子育て支援施設の利用頻度



図表 2-6 年齢別 親子で集える場所の利用頻度

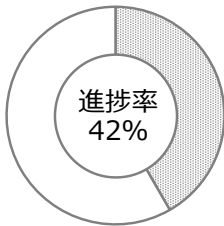


基本目標 2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち

施策分野（2）健やかな体と心をつくる学びの推進

（1）指標の評価

○基本目標2 施策分野（2）に該当する 12 指標のうち、改善した指標は 5 指標の 42%、悪化した指標が 25%の 3 指標でした。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	0	0.0%	指標総数：12 指標  進捗率 42%
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	5	41.7%	
2 変わらない	3	25.0%	
3 悪くなっている	3	25.0%	
4 評価できない	1	8.3%	
計	12		

評価基準	指標名
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	指標 31 小中学生の痩身傾向児（肥満度 - 20%以下）の割合 指標 34 十代の喫煙率 指標 35 十代の飲酒率 指標 36 朝食を欠食する小中学生の割合 指標 37 規則的な生活リズムで生活する児の割合
2 変わらない	指標 22 若年妊婦による妊娠届け出数 指標 28 妊娠中の食事（三食）の摂取状況 指標 29 十代の人工妊娠中絶率
3 悪くなっている	指標 23 朝食を子どものみで食べている児の割合 指標 32 小中学生の肥満傾向児（肥満度 + 20%以上）の割合 指標 33 歯肉に炎症がある十代の割合
4 評価できない	指標 30 十代の性感染症罹患率

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	11	9	指標なし	健康水準 45.5% 44.4% 環境整備 健康行動
1 ①改善した（目標を達成した）				
1 ②改善した（目標に達していないが改善した）	5	4		
2 変わらない	2	3		
3 悪くなっている	3	2		
4 評価できない	1			

* 指標の種類が 2 種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります。

(2) 調査結果

基本施策①心身の健康づくりの基本に関する教育の推進, ②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備

- ・母親の喫煙がない人ほど、妊娠中の母親が食事（三食）を「必ず食べていた」の割合が高い傾向があります。(P39 図表 2 - 7)
- ・子育ての状況の満足度が高い人ほど、妊娠中の母親が食事（三食）を「必ず食べていた」の割合が高い傾向があります。(P39 図表 2 - 8)
- ・父親の育児への参加状況の頻度が多い人ほど、妊娠中の母親が食事（三食）を「必ず食べていた」の割合が高い傾向があります。(P39 図表 2 - 9)
- ・肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合が小学校, 中学校ともに増加しています。(P39 図表 2 -10)
- ・歯肉に炎症がある十代の割合が小学校, 中学校ともに増加しています。特に, 中学校の増加率が高い傾向があります。(P39 図表 2 -11)
- ・母親の喫煙がない人は, 規則的な生活リズムで生活する児の割合が高い傾向があります。(P39 図表 2 -12)
- ・子どもの生活リズムが規則正しい人ほど, 妊娠中の母親が食事（三食）を「必ず食べていた」の割合が高い傾向があります。(P40 図表 2 -13)

(3) 事業評価

議事 2 「第 2 章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

○乳児期・幼児期から思春期まで, 子どもの発達段階に応じた健康づくり情報を提供しました。

基本施策①心身の健康づくりの基本に関する教育の推進

思春期保健関係者会議を定例で実施し, 関係機関と思春期保健のあり方について評価及び検討を行いました。

基本施策②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備

栄養・食生活に関しては, 離乳食教室や幼児健康診査等の母子保健事業や保育園での食育等を通し, 家族ぐるみで健康的な食生活を実践できるような働きかけを行いました。

朝食と夕食の共食状況の追加調査では, 夕食を家族で食べる割合が高いことが分かりました。

学校においては栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭が連携し, 健康な生活習慣を習得するための食育の授業実施や学校給食を発信源とした保護者への栄養に係る啓発に取り組んでいます。

学校等の給食施設へ指導を行い、給食を通して正しい食習慣を身につけられるよう、適正体重の維持や野菜摂取、減塩に関する啓発資料の活用を促すなどの働きかけを行いました。

妊娠子育て相談センターにおいて母子健康手帳発行時に、喫煙や飲酒の有無について聞き取りを行い、保健指導の機会としました。妊婦の喫煙率・飲酒率は改善傾向にあります。柏ノースモツ子作戦として、小中学校における防煙教育等の関係団体と連携した取り組みを実施しました。

様々な母子保健事業を通じて、フッ化物活用に関する啓発、むし歯予防の強化を図ったことでむし歯のある3歳児の割合は改善しています。歯肉に炎症のある10代の割合は悪化しているものの、ベースライン値の時点で国よりも低い傾向にあります。

(4) 課題

議事2「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

<学齢期の健康づくり>

指標3-1小中学生の痩身傾向児（肥満度-20%以下）は改善しているものの、指標3-2小中学生の肥満傾向児（肥満度+20%以上）の割合は、小学生、中学生ともに増加し、評価は「悪くなっている」になっています。また、ベースライン値の時点で国よりも低い傾向にあるものの、指標3-3歯肉に炎症のある10代の割合も悪化し、評価は「悪くなっている」にあたります。今後も家庭・地域・学校等が連携し、学齢期の健康づくりについてさらなる取組推進が必要です。

<健康的な食習慣の定着>

離乳食教室や幼児健康診査等の母子保健事業や保育園での食育等を通し、家族ぐるみで健康的な食生活を実践できるような働きかけを行いました。指標2-3朝食を子どものみで食べている児の割合は増加し、評価は悪くなっているになっています。

子どもの頃からの健康的な食習慣の確立に向け、母子保健事業での啓発や保育園、幼稚園、学校等における食育の推進強化が必要です。

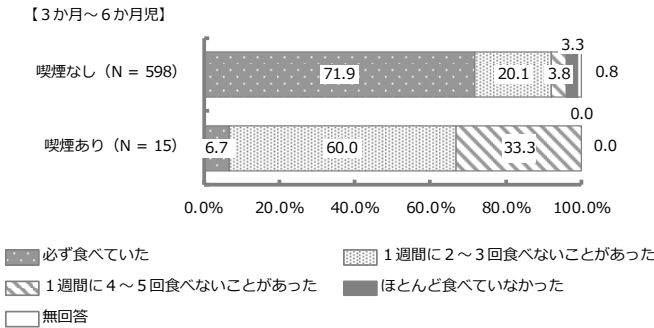
<健康づくりを意識した地域活動、母子保健活動の推進>

思春期保健関係者会議にて、関係機関と思春期保健のあり方について評価及び検討を行っていますが、指標2-2若年妊婦による妊娠届け出数、指標2-8妊娠中の食事（三食）の摂取状況及び指標2-9十代の人工妊娠中絶率は、評価基準は「変わらない」に該当しています。

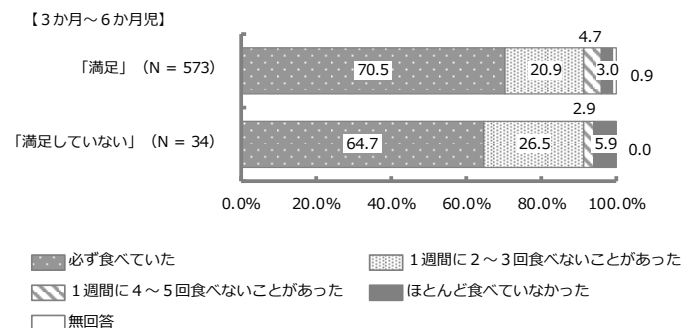
調査では、母親が妊娠中に三食を必ず食べていた人は、子どもの生活リズムが規則正しい割合が高い傾向があり、母親の健康づくりが重要と考えられます。健康づくりは、市民ひとりひとりの自主的な取り組みが必須であり、健康づくりを支援する地域活動が必要で

す。ライフステージごとに健康づくりに資する啓発テーマを体系的に組み立て、母子保健活動や地域活動を推進していくことが課題です。

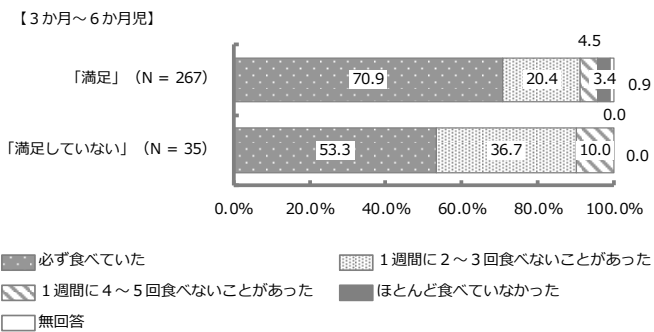
図表 2-7 母親の喫煙の有無別、妊娠中の食事(三食)の摂取状況



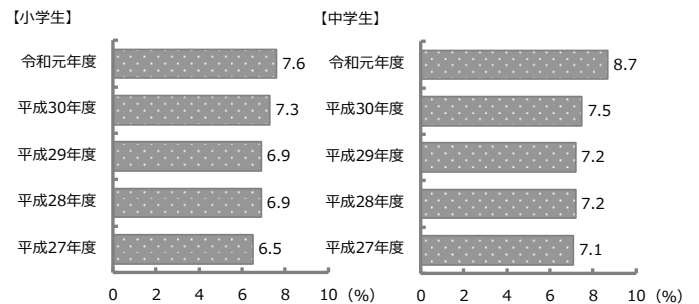
図表 2-8 子育ての満足度別、妊娠中の母親の三食の摂取状況



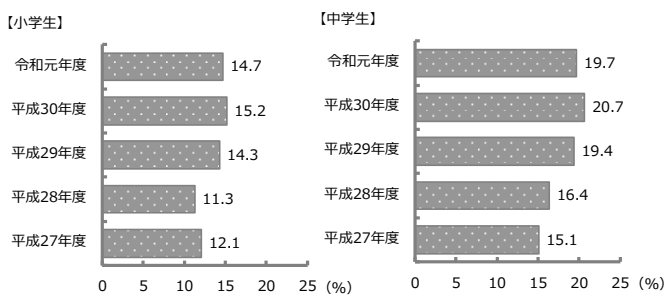
図表 2-9 父親の育児への参加状況別、妊娠中の母親の三食の摂取状況



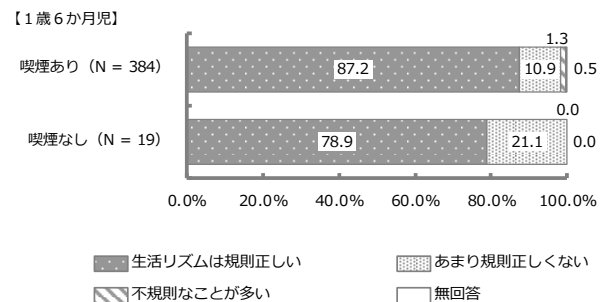
図表 2-10 肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合



図表 2-11 歯肉に炎症がある十代の割合

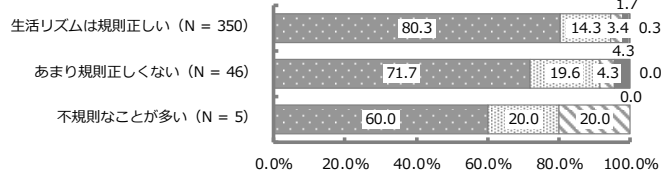


図表 2-12 母親の喫煙の有無別、規則的な生活リズムで生活する子どもの状況

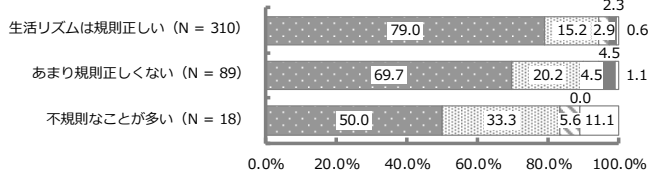


図表 2-13 子どもの生活リズムが規則正しい人別、
妊娠中の母親の三食の摂食状況

【1歳6か月児】



【3歳児】

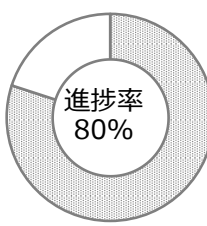


必ず食べていた
 1週間に2~3回食べないことがあった
 1週間に4~5回食べないことがあった
 ほとんど食べていなかった
 無回答

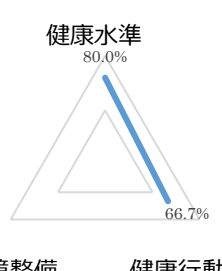
基本目標3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支えあうまち 施策分野（1）配慮が必要な子ども及び配慮が必要な 子育て家庭への切れ目ない支援

（1）指標の評価

○基本目標3 施策分野（1）に該当する5指標のうち、改善した指標は5指標の80%でした。

評価基準	評価指標数	割合	進捗率
1 ①改善した（目標を達成した）	0	0.0%	指標総数：5指標  進捗率 80%
1 ②改善した（目標に達成していないが改善した）	4	80.0%	
2 変わらない	1	20.0%	
3 悪くなっている	0	0.0%	
4 評価できない	0	0.0%	
計	5		

評価基準	指標名
1 ①改善した（目標を達成した）	指標 24 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 指標 25 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合 指標 26 虐待の可能性のある行為をしている親の割合 指標 38 母が育てにくさを感じている割合
2 変わらない	指標 27 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合

指標の種類	健康水準	健康行動	環境整備	指標の種類別達成度
指標の種類別指標数	5	3	指標なし	 健康水準 80.0% 健康行動 66.7% 環境整備
1 ①改善した（目標を達成した）				
1 ②改善した（目標に達していないが改善した）	4	2		
2 変わらない	1	1		
3 悪くなっている				
4 評価できない				

* 指標の種類が2種類にまたがる指標もあるため、指標総数と指標の種類別の合計は異なります

（2）調査結果

基本施策①要支援家庭への個別支援の充実

- ・育てにくさを感じている人ほど、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある人の割合が低い傾向にあります。（P44 図表3-1）

- ・虐待の可能性のある行為をしている親の割合は大幅に減少しているものの、3歳児では約4割となっています。(P30 図表 1-15)
- ・声掛けしてくれる近所の人がある人ほど、子どもの育てにくさを感じる割合が低い傾向があります。(P44 図表 3-2)
- ・市外から転入してきた人は、もともと柏市内に住んでいた人に比べ「身近に子育てを助けてくれる家族がいない」「近所に子育てを手伝ってくれる人がいない」「気軽に相談できる近所の知り合いがいない」の割合が高い傾向があります。(P44 図表 3-3)

基本施策②発達発育・養育環境等の不安の軽減,

③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発

- ・子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合は増加しているもの、3歳児で他の年代と比べ、低くなっています。(P45 図表 3-4)

基本施策④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化

- ・育てにくさを感じている人は、「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの提供」「子どもの健康や発達について相談でき、かわり方等を教えてくれる場所づくり」といった支援を望む割合が高くなっています。(P45 図表 3-5)

(3) 事業評価

議事2 「第2章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

- 支援が必要な家庭や配慮が必要な子どもに対し、関係機関と連携した支援を早期に行い、育児の不安を軽減しました。

基本施策①要支援家庭への個別支援の充実

乳児家庭全戸訪問事業の実施率、面談率が伸び、新生児訪問及び乳児訪問の実施により配慮が必要な子ども及び子育て家庭の早期把握を行い、早期支援につなげました。

多胎妊産婦、多胎家庭は身体的・精神的負担や社会からの孤立、早産や低出生体重児の割合が高いなど心身ともに負担が大きいため、妊娠届出時よりハイリスク妊婦として把握し早期支援を行っています。

母と子のつどいや様々な啓発の機会等を通じ、地域の中で相談できる環境づくりや、子どもの発達・個性の理解を深める取り組みを行いました。

医療的ケアを必要とする子どもに対しては、関係機関連携による在宅療養支援を行っています。

基本施策②発達発育・養育環境等の不安の軽減

未熟児養育医療，小児慢性特定疾患治療研究事業では，申請時の専門職面談を行い，必要なケースを継続支援につなげています。

幼児健康診査をはじめとする母子保健事業の中で，障害のある子どもや発達支援の必要な子どもを早期に発見し，継続支援（経過観察，ひよこルーム，発達相談，こども発達センター等）につないでいます。

基本施策③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発

障害や発達に課題のある子どもや家族についてはこども発達センターにつなぎ，関係事業所が適切な支援を提供しています。

基本施策④地域の医療，福祉，保育，教育，療育機関等との連携の強化

こども園，幼稚園，保育園等へ専門職員を派遣し，発達に課題のある子どもや，障害児等が在籍する園の職員への支援強化に取り組み，家族への相談支援にも取り組んでいます。

配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目ない支援のためには，母子保健・地域保健サービスを総合的に提供することが必要であり，体系的な研修計画に基づき，対人保健サービスに従事する職員の人材育成を推進しました。

（４）課題

議事 2 「第 2 章 柏市の母子保健を取り巻く現状と課題」について

<障害や発達に課題のある児童や家族への個別支援の充実と環境の整備>

発達支援を受けながら通園している子どもに対し，地域で支えるための支援の充実や環境の整備，所属しているこども園・幼稚園・保育園の施設職員への巡回支援等が必要です。

今後も，配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目ない支援のために，母子保健・地域保健サービスを総合的に提供することが必要であり，こども発達センターや民間の児童発達支援センターを中核とした関係事業所が連携し，適切な発達支援サービスを提供することが重要です。

<発育発達・養育環境等の不安の軽減>

指標 2 4 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合，指標 2 5 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合，指標 2 6 虐待の可能性のある行為をしている親の割合，指標 3 8 母が育てにくさを感じている割合は，いずれも改善傾向にありましたが，ハイリスク妊婦・特定妊婦の割合や家庭児童相談件数は年々増加傾向にあり，子どもの発達に関する不安軽減ための取組みの推進が必要です。

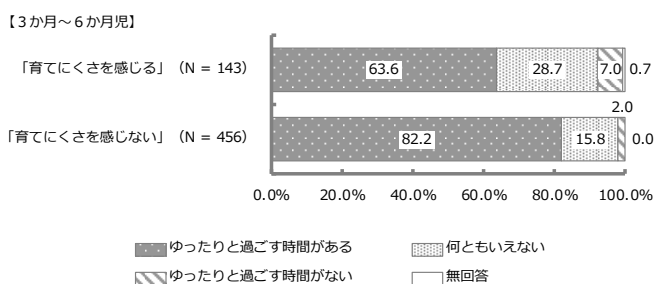
<人材育成と他機関連携の強化>

妊娠期からの子どもの健康や発達，障害等に関する多様なニーズに対応するため，専門職等の相談体制を充実させ，安心して育児ができるよう関係機関と連携した支援を行っていく必要があります。相談やコーディネートに関わる人材の育成と他機関連携の強化が必要です。

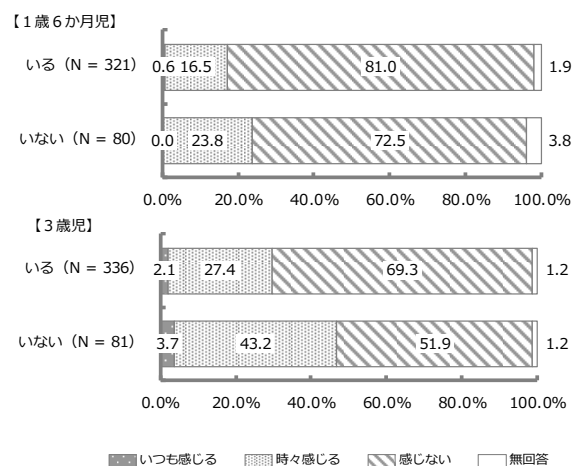
<多胎家庭への支援>

多胎妊産婦，多胎家庭は身体的・精神的負担や社会からの孤立，早産や低出生体重児の割合が高いなど心身ともに負担が大きいいため，妊娠届出時よりハイリスク妊婦として把握し早期支援を行っていますが，今後はさらなるきめ細かな支援や情報提供が必要です。

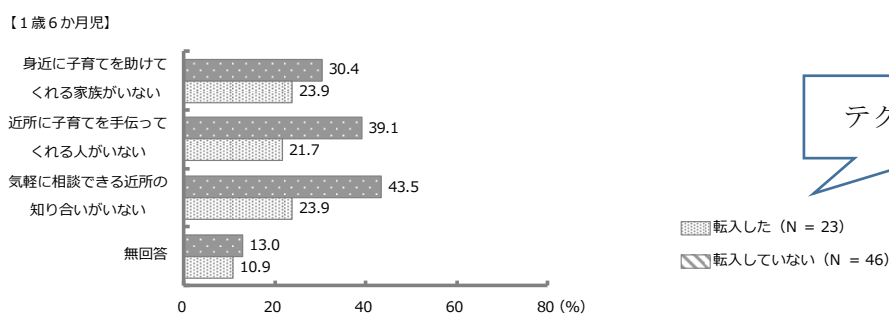
図表 3-1 育てにくさ別 母親のゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の割合



図表 3-2 声をかけてくれる近所の人の子育てにくさを感じるか



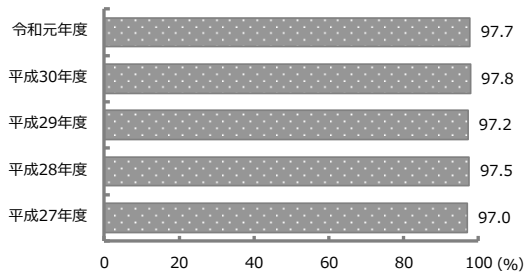
図表 3-3 転入の有無別 子育てを助けてくれる・相談にのってくれる人がいるか



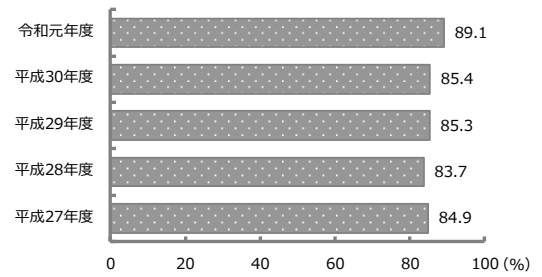
テクスチャ修正中

図表 3-4 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合

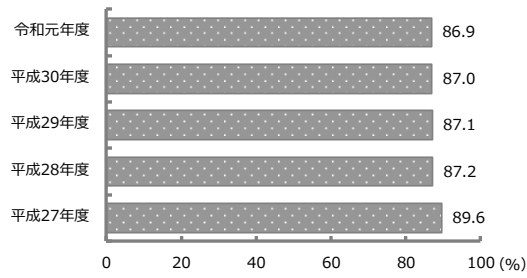
【1歳6か月児】



【3・4か月児】

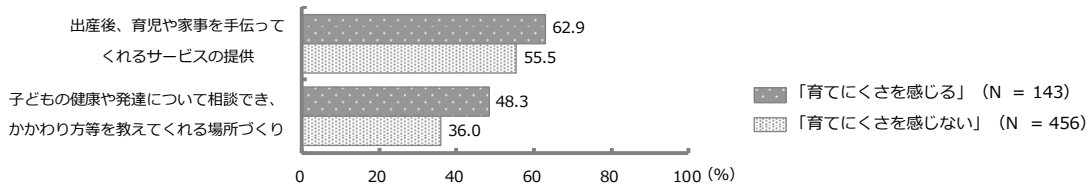


【3歳児】

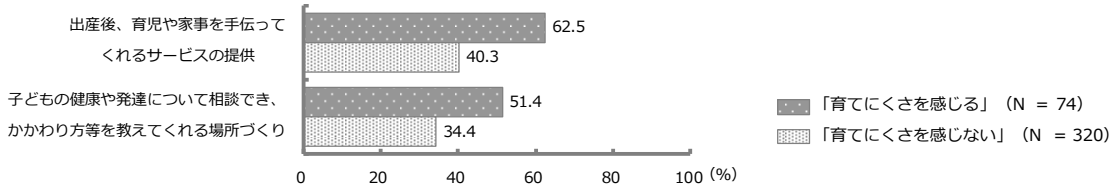


図表 3-5 育てにくさの有無別 望む支援の内容

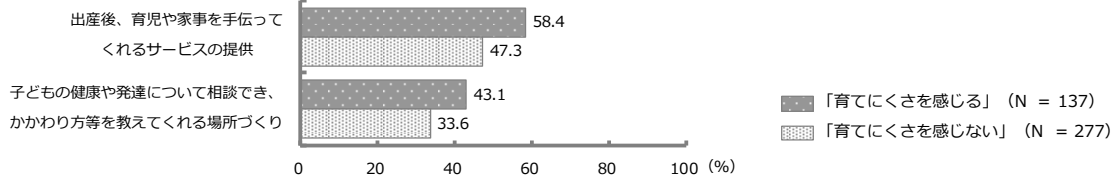
【3～6か月児】



【1歳6か月児】



【3歳児】



第3章 最終評価に向けた指標に関する整理

1 柏市母子保健計画中間評価指標に係る修正

38 指標それぞれにおいて、計画策定時（平成 26 年度）のベースライン値、5 年後（令和元年度）の中間評価目標値、10 年後（令和 6 年度）の最終評価目標値が定められています。今回の中間評価においては、計画策定時（平成 26 年度）のベースライン値と 5 年後（令和元年度）の値を比較して、中間評価を行っています。

中間評価の時点で、すでに 10 年後（令和 6 年度）の最終評価目標値に達成している指標があったため、今後の更なる推進のため最終評価目標値を上方修正しました。

また、中間評価をしていくなかで、ベースライン値の修正が必要になったり、指標名や内容の修正を行った目標値がありました。

評価をしていくうえで、指標のみでは評価判断が難しい場合があり、補足データを追加したほうが良い指標がありました。

以上の修正を行い、最終評価目標値をめざして計画の後期を推進していきます。

（1）中間評価にて最終評価目標値に達成したため、最終評価目標値を上方修正しました。

- ・ 指標 11：仕事を持つ妊婦の割合
- ・ 指標 16：乳児家庭全戸訪問事業での面談率

（2）ベースライン値を修正したことにより、最終評価目標値も修正しました。

- ・ 指標 7：乳幼児健康診査の未受診率
- ・ 指標 29：十代の人工妊娠中絶率

（3）指標名や内容を修正したことにより、最終評価目標値も修正しました。

- ・ 指標 26：虐待の可能性のある行為をしている親の割合
⇒乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合に変更しました。
- ・ 指標 30：十代の性感染症罹患率
⇒算出方法を定点 1 カ所当たりの報告数に変更しました。

（4）指標だけでは評価判断が難しいため、補足データを追加しました。

- ・ 指標 11：仕事を持つ妊婦の割合
補足データ：妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就業妊婦の割合

- ・指標 14 : ハイリスク妊婦の割合
- ・指標 15 : 特定妊婦の割合
 - 補足データ : 要支援ケースフォローの割合
- ・指標 33 : 歯肉に炎症がある十代の割合
 - 補足データ : むし歯経験者のうち処置完了の者の割合

今後の取り組みについて、行政・関係団体等・市民に分け、役割を整理しました。

第4章 施策の取り組みと推進体制

38 指標の中間評価では、約 6 割の 24 項目が改善傾向にありました。

基本目標「安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち」に該当する指標のうち、約 7 割、「配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち」に該当する指標のうち約 8 割が改善傾向にあり、取り組みが成果を挙げていることがわかります。今後も取り組みの推進をしていきます。

一方で、基本目標「子どもの育ちと子育てを支え合うまち」に該当する指標のうち改善した指標は 5 割を下回り、同目標の施策分野「健やかな体と心をつくる学びの推進」は約 4 割に留まっているため、取り組みの強化をしていきます。

指標の種類別では、「環境整備（事業の実施、サービスの提供、施設・設備の整備等資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与しうる取組）」に該当する指標のうち、8 割を超える指標が改善傾向にありますが、「健康行動（保健水準達成のための市民一人ひとりが取り組むべき事項）」に該当する指標は約 6 割、「健康水準（QOL を含む市民の保健水準）」に該当する指標は約 5 割に留まっています。市民が健やかな体と心について考える事ができる機会の増加に取り組んでいきます。

議事 3	「第 4 章 施策の取り組みと推進体制」について（資料 4：P48～51） 1 行政の役割 2 関係団体等の役割 3 市民の取り組み
審議内容	各機関の役割についての案を作成しました。中間評価結果から、 行政・関係団体等・市民にそれぞれ求められる役割や取り組みについて、ご意見ご助言をお願いします。

1 行政の役割

指標の種類別で「環境整備（事業の実施、サービスの提供、施設・設備の整備等資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与しうる取組）」に該当する指標のうち、改善した指標の割合は 8 割を超え、行政の取り組みが成果を挙げていることがわかります。

行政の役割について、基本目標にごとにまとめました。

基本目標 1

「安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち」

該当する指標のうち約 7 割は改善傾向にありますが、ハイリスク妊婦や特定妊婦の割合は増加し、乳幼児健康診査の未受診率は悪化しています。

今後も関係機関と連携をして、利用者支援事業や乳児家庭全戸訪問事業や産後ケア事業等、妊娠期から切れ目のない子育て支援を強化し、フォロー体制を強化します。特に育児支援者は重要であり、父親等の育児参加への支援を推進していきます。

乳幼児健康診査の未受診者に関しては、受診率向上を目指すとともに未受診の状況把握を行い、必要に応じて支援へと繋げていくようにします。

新型コロナウイルス感染症だけでなく、今後も新興感染症は発生する恐れがあり、感染拡大防止のための情報提供や対策を推進し、災害等も含め「柏市地域防災計画」に基づき、関係機関と連携をした体制整備強化をしていきます。

基本目標2

「子どもの育ちと子育てを支え合うまち」

該当する指標のうち改善した指標は4割を下回っており、乳幼児期から母子保健事業等を通じた啓発や学齢期での教育を強化していきます。

基本目標3

「配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち」

該当する指標のうち約8割が改善傾向にあります。

関係機関と連携を密にし、障害や発達に課題のある児童や家族への個別支援を実施していきます。

心身ともに負担が大きい多胎妊婦のかたや家庭への支援を強化していきます。

2 関係団体等の役割

指標の種類別で「環境整備（事業の実施，サービスの提供，施設・設備の整備等資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与しうる取組）」に該当する指標のうち、改善した指標の割合は8割を超え、関係団体等と連携した取り組みが成果を挙げていることがわかります。関係団体等の役割について、基本目標ごとにまとめました。

基本目標1

「安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち」

柏市医師会・柏歯科医師会・柏市薬剤師会等関係団体等と妊娠期から切れ目のない子育てで支援を強化し、特に周産期メンタルヘルスへの取り組みを推進していきます。

基本目標2

「子どもの育ちと子育てを支え合うまち」

関係団体等とともに乳幼児期から食育・地域活動等を通じた啓発や学齢期での教育を推進していきます。

柏市民健康づくり推進員協議会等関係団体とともに、地域ぐるみの健康づくり及び子育て支援を推進していきます。

基本目標 3

「配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち」

関係団体等と連携をして、障害や発達に課題のある児童や家族への個別支援を実施していきます。

3 市民の取り組み

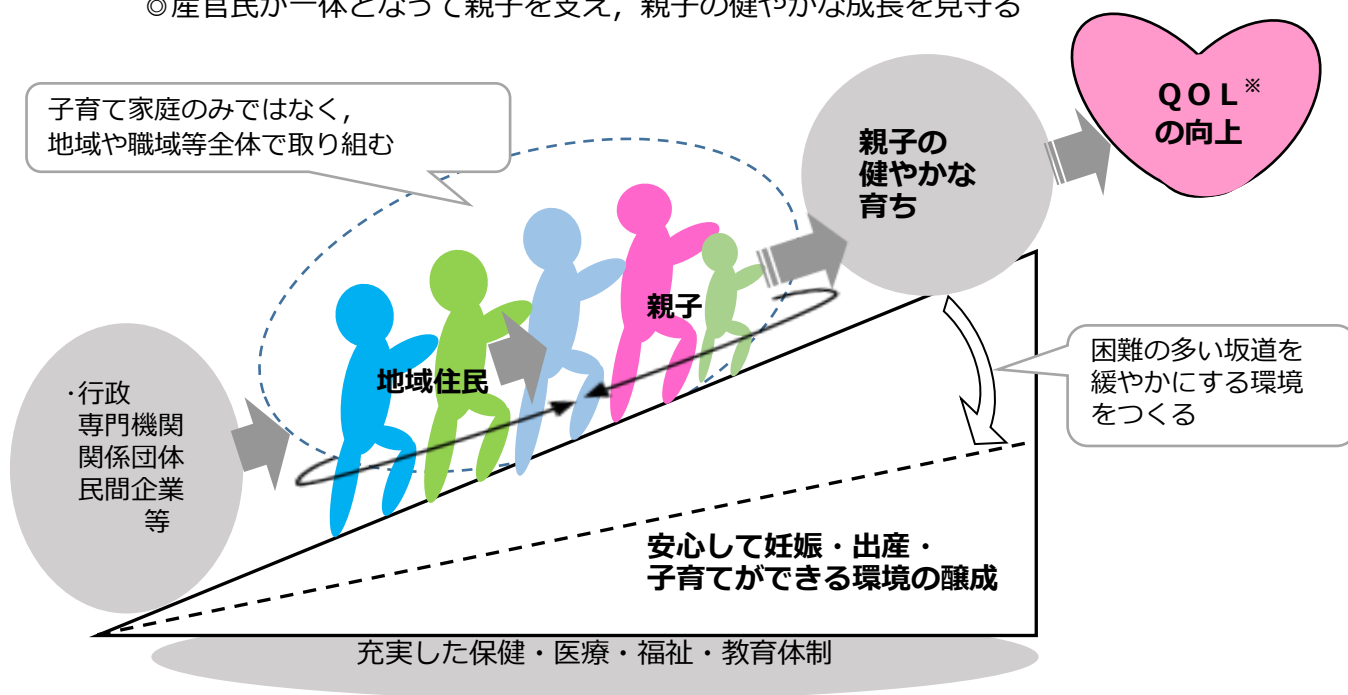
指標の種類別で「健康行動（保健水準達成のための市民一人ひとりが取り組むべき事項）」と「健康水準（QOLを含む市民の保健水準）」に該当する指標のうち、改善した指標の割合はそれぞれ約6割、約5割に留まっています。

親子がともに健やかに育つまちづくりには、市民一人ひとりの意識・行動が大切です。自分自身や家族の生活の質（QOL）の向上を目指して健康的な生活習慣を身につけていくことが必要です。

市民の役割について、基本目標にごとにまとめました。

■ヘルスプロモーションの理念に基づく取り組みの推進■

- ◎地域全体で妊娠・出産・子育てを支え合う
- ◎産官民が一体となって親子を支え、親子の健やかな成長を見守る



※QOL(Quality of Life)：生活の質

柏市母子保健計画より引用

基本目標 1

「安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち」

安心して出産できるように、妊娠期から母子保健サービス等に関する情報収集を行います。医師・助産師・保健師等専門職からの助言を参考に、自分に合った母子保健サービス等を積極的に利用します。

児の健康を守るため、乳幼児健康診査は決められた時期に受診します。

夫婦で協力して子育てができるよう父親は積極的に育児に参加し、育児に困った時は早期に周囲の人や専門機関に相談をします。

基本目標 2

「子どもの育ちと子育てを支え合うまち」

妊娠期から心身の健康について考えて規則正しい生活を送り、家族が健やかに過ごすことができるように、家族で力を合わせていきます。

親子で集える場所を調べ、積極的に参加します。困った時は早期に周囲の人や専門機関に相談をして、周囲の支援を得ながらゆったりと育児ができるようにしていきます。

学童期から自らの健康を考え、自分の体を守ることをできるように学習していきます。

基本目標 3

「配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち」

子どもの社会性の発達過程を理解するよう努め、障害や発達に困った時には早期に周囲の人や専門機関に相談をします。

4 推進体制

今後母子保健計画を推進するにあたり、行政・関係団体等・市民の連携した取り組みを行う上での体制を記載しました。

議事 4	「第 4 章 施策の取り組みと推進体制」について（資料 4：P5 2） 4 推進体制
審議内容	今後、母子保健計画を推進するにあたり、行政・関係団体等・市民の連携した取り組みが大切になります。 ・今後、関係団体として、また市民として、具体的に取り組めることについて、ご意見ご助言をお願いします。 ・柏市母子保健計画の周知について、ご意見ご助言をお願いします。

本計画の中間評価結果については、市のホームページ「柏市オフィシャルウェブサイト」を通じ情報提供をしていきます。

後期計画の推進にあたり、前期に引き続き「優先的取り組み政策工程表」（P5 3）を基に推進をしていきます。

具体的な取り組み事業は、3つの基本目標の各施策分野毎に該当する事業と主となる担当課をまとめた推進事業一覧（P5 4～5 7）のとおりです。

柏市保健衛生審議会母子保健部会において、見直しを行った本計画の達成状況等の進捗管理をするとともに、その進捗経過については柏市保健衛生審議会に報告してまいります。

また、関係機関等にとどまらず広く市民に、計画内容や進捗状況、親子をとりまく現状と課題を伝え、それぞれが担うべき役割について共有や周知をしていきます。

(1) 優先的取り組み政策工程表

令和7年度までの施策分野別の年度目標を示しました。

	優先	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本目標1 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち											
施策分野1 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援											
①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備	○	準備	整備	充実	●						
②乳幼児期の健やかな成長の支援				充実	●						
③地域ぐるみの子育て支援の充実			整理	充実	●						
④災害等における危機管理体制の整備	○				整備	整備	整備	充実	●		
施策分野2 妊娠期からの児童虐待防止対策											
①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援	○	充実	●								
②地域の医療、福祉、保育機関等との連携			整理	充実	●						
基本目標2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち											
施策分野1 子育て・子育て・親育ちの支援											
①育児・健康等の不安の軽減	○		整備	充実	●						
②地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携				充実	●						
③子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備			整理	充実	●						
施策分野2 健やかな体と心をつくる学びの推進											
①心身の健康づくりの基本的に関する教育の推進				充実	●						
②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備	○	整理	充実	●							
基本目標3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り、支え合うまち											
施策分野1 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援											
①要支援家庭への個別支援の充実			充実	●							
②発達発育・養育環境等の不安の軽減	○		充実	●							
③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発		整理	充実	●							
④地域の医療福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化			充実	●							

※優先に○の記載があるものは、優先的取り組みになります。

前回の部会で承認を得たものに、担当部を追記しました。

(2) 推進事業一覧 後期計画に向けて、各基本施策ごとに事業をまとめました。

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課	
1 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1 (1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援	1 (1) ① 妊娠から継続した総合的な支援体制の整備	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業	保健所	地域保健課	
			産前・産後サポート事業（デイサービス型）（ママパパサロン）		地域保健課	
			不妊に悩む方への特定治療支援事業		地域保健課	
			乳児家庭全戸訪問事業		地域保健課	
			子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）		地域保健課	
			子育て支援事業（母と子のつどい）		地域保健課	
			保健栄養事業		地域保健課	
			地域保健推進に関する人材育成		地域保健課	
			家庭児童相談事業（子ども家庭総合支援拠点）		こども部	こども福祉課
			母子・父子自立支援相談事業			こども福祉課
		利用者支援事業（基本型）はぐはぐひろば沼南、はぐはぐひろば若柴	子育て支援課			
		1 (1) ② 乳幼児期の健やかな成長の支援	妊婦・乳児一般健康診査助成事業	保健所	地域保健課	
			新生児聴覚検査費用助成事業		地域保健課	
			乳児家庭全戸訪問事業		地域保健課	
			幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）		地域保健課	
			8か月児相談		地域保健課	
			予防接種等事業		健康増進課	
		応急手当普及啓発事業	消防局	救急課		
		1 (1) ③ 地域ぐるみの子育て支援の充実	子育て支援事業（母と子のつどい）	保健所	地域保健課	
			柏市民健康づくり推進員活動（母と子のつどい含）		地域保健課	
			ファミリー・サポート・センター事業	こども部	子育て支援課	
			子育て支援者の育成・ネットワーク事業		子育て支援課	
			子育て短期支援事業		こども福祉課	
			公立保育園における通常保育事業		保育運営課	
			一時保育事業		保育運営課/ 子育て支援課	
			柏市保育ルーム委託乳幼児事業		保育運営課	
		保育士確保事業	保育運営課			
		ブックスタート事業		図書館/子育て支援課/地域保健課		
1 (1) ④ 災害等における危機管理体制の整備	防災等に関する啓発事業	保健所	地域保健課			
	発災後の母子支援に関する仕組みづくり		地域保健課			
	防災知識の普及に関する事業	総務部	防災安全課			

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課
1 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1 (2) 妊娠期からの児童虐待防止対策	1 (2) ① リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業	保健所	地域保健課
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業		地域保健課
			産後ケア事業		地域保健課
			要保護児童対策事業（要保護児童対策地域協議会）	こども部	こども福祉課
			養育支援訪問事業		こども福祉課
			母子・父子自立支援相談事業		こども福祉課
		男女共同参画推進のための相談事業	地域づくり推進部	協働推進課	
		1 (2) ② 地域の医療, 福祉, 保育機関等との連携	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業	保健所	地域保健課
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業		地域保健課
		2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2 (1) 子育て・子育て・親育ちの支援	2 (1) ① 育児・健康等の不安の軽減	子育て電話相談（にこにこダイヤルかしわ）
母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）	地域保健課				
幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）	地域保健課				
8か月児相談	地域保健課				
病児保育事業	こども部				保育運営課
2 (1) ② 地域の医療, 福祉, 保育, 教育機関等との連携	特定妊婦・要支援家庭への支援事業			保健所	地域保健課
	幼保こ小連携の推進			教育委員会 学校教育部	教育研究所
2 (1) ③ 子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備	BPプログラム,ペアレントプログラム			こども部	子育て支援課
	地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば）事業				子育て支援課
	子育て支援者の育成・ネットワーク事業				子育て支援課
	子育て支援情報提供事業				子育て支援課
	児童センターの管理運営事業				子育て支援課
	「みんなの子育て広場」支援事業			教育委員会 生涯学習部	生涯学習課
	妊婦・乳児一般健康診査助成事業			保健所	地域保健課
	幼児健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・ひよこルーム）				地域保健課
	8か月児相談				地域保健課
	利用者支援事業（母子保健型）：子育て世代包括支援センター運営事業				地域保健課
	母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）				地域保健課
	地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）				こども部

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課		
2 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2 (2) 健やかな体と心をつくる学びの推進	2 (2) ① 心身の健康づくりの基本に関する教育の推進	思春期保健事業	保健所	地域保健課		
			エイズ・性感染症予防事業		保健予防課		
			いのちの教育の推進	教育委員会学校教育部	学校保健課		
		2 (2) ② 健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備	母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）	母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）	母子保健推進事業（電子親子手帳サービス・母子保健啓発等）	保健所	地域保健課
					保健栄養事業		地域保健課
					思春期保健事業		地域保健課
					母子歯科保健事業「歯っぴーカムカムかしわっ子作戦！！」		地域保健課
					母子歯科保健事業「歯っぴーカムカムかしわっ子作戦」（2歳の歯☆ピカド®及びフッ化物歯面塗布）		地域保健課
					成人歯科保健事業（かしわ歯科相談室）		健康増進課
					健康教育		地域保健課/ 健康増進課
					ウォークの推進		健康増進課
					栄養指導事業		健康増進課
					タバコ対策（受動喫煙対策）		健康増進課
					エイズ・性感染症予防事業		保健予防課
					精神保健福祉の推進（アルコール関連事業）		保健予防課
いのちの教育の推進	教育委員会学校教育部	学校保健課					
食育の推進（子ども健康プロジェクト）	教育委員会学校教育部	学校保健課					
地域スポーツの推進	地域づくり推進部	スポーツ課					
3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち	3 (1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援	3 (1) ① 要支援家庭への個別支援の充実	家庭児童相談事業（子ども家庭総合支援拠点）	こども部	こども福祉課		
			要保護児童対策事業（要保護児童対策地域協議会）		こども福祉課		
			ペアレントトレーニング		こども福祉課		
			発達相談		こども発達センター		
			外来療育相談支援（集団・個別）事業	こども発達センター			
			特定妊婦・要支援家庭への支援事業	保健所	地域保健課		
			1歳6か月児健康診査事後集団指導事業（ひよこルーム）		地域保健課		
			産前・産後サポート事業アウトリーチ型（妊娠子育てサポート事業）		地域保健課		
医療的ケア等支援事業（障害児等医療的ケア支援連絡会、喀痰吸引等従事ヘルパー育成）	保健福祉部	障害福祉課					

基本目標	施策分野	基本施策	事業	担当部	担当課
3 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち	3(1) 配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援	3(1)② 発達発育・ 養育環境等 の不安の軽減	特定妊婦・要支援家庭への支援事業	保健所	地域保健課
			小児慢性特定疾病医療支援事業		地域保健課
			多胎家庭への支援		地域保健課
			未熟児・低体重出生児の管理		地域保健課
			養育医療給付事業		地域保健課
			発達相談	こども部	こども発達センター
			地域子育て支援拠点（はぐはぐひろば）事業		子育て支援課
		地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）	子育て支援課／保育運営課		
		3(1)③ 発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発	障害児等療育支援事業（巡回相談）	こども部	こども発達センター
		3(1)④ 地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	保育所等訪問支援事業	こども部	キッズルーム
就学相談	教育委員会学校教育部		児童生徒課		
母子歯科保健事業「歯っぴーカムカムかしわっ子作戦！！」	保健所		地域保健課		

第5章 参考

1 柏市保健衛生審議会母子保健部会委員名簿

令和元年度から令和3年度にかけて母子保健部会（旧名称：母子保健専門分科会）における協議及び助言を踏まえ、本計画の中間評価を実施しました。

No.	氏名	所属等	備考
1	青木 聡美	千葉県柏児童相談所主席児童福祉司兼次長	
2	足立 千賀子	一般社団法人 千葉県助産師会 監事	
3	金岡 幸江	柏市小中学校校長会 柏市立大津ヶ丘第二小学校校長	
4	菊池 春樹	東京成徳大学 応用心理学部 臨床心理学科 准教授	
5	窪谷 潔	柏市医師会理事	
6	黒滝 義之	一般社団法人 柏歯科医師会 理事	
7	佐藤 紀子	千葉県立保健医療大学 看護学科 教授	部会長
8	杉山 拓人	柏市認定こども園協議会 事務長	
9	平野 準子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会 会長	
10	和田 靖之	東京慈恵会医科大学附属柏病院 小児科診療部長	副部会長
11	渡部 明子	公募委員	
12	渡邊 智子	学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校 校長	

[敬称略・五十音順] 令和3年10月時点

2 資料

(1) 柏市母子保健計画策定に係るニーズ調査結果（概要）

※以下3～6か月は乳児，1歳6か月児は1.6健，3歳児は3健とする。

ア 回答者属性

- ① 回答者の居住地
 - ・3地区（北・南・中央）で北部
 - ・20地区別では，全ての調査票で「田中」地区が一番多い
- ② 回答者の年齢 「30～34」「35～39」歳で約7割を占める
- ③ 回答者の職業 「専業主婦」が最も多い
- ④ 回答者の居住年数 「5年未満」が最も多い
- ⑤ 回答者を除く同居家族の人数
 - 「3人」が最も多く，次いで「2人」が多い
 - H27は「2人」が一番多い
- ⑥ 同居している子供に人数
 - 「1人」が最も多く，次いで「2人」が多い

イ 子どもについて

- ① 何番目の子どもかをみると「第1子」が最も多い

ウ 妊娠，出産時の状況

- ① 妊娠中及び産後の相談相手 概ね存在している 改善
H27 94.0% ⇒ R1 98.3%
- ② 妊娠中及び産後の相談相手 相談相手は「配偶者」が多い
- ③ 妊娠中の母親の喫煙 「なし」と回答した者が多い 改善
H27 94.7% ⇒ R1 97.7%
- ④ 妊娠中の母親の飲酒 「なし」と回答した者が多い 改善
H27 94.8% ⇒ R1 98.1%
- ⑤ 妊娠中の母親の三食の摂食 「必ず食べていた」が過半数
- ⑥ 妊娠中の母親の就業 「働いていたことがある」が過半数 増加
H27 53.9%⇒ R1 64.3%
- ⑦ 妊娠，出産の状況は満足度が高い
- ⑧ 産後1か月くらいの間の育児場所
 - 「柏市の自宅」が最も多く，次いで「お母さんの実家」
 - H27 「お母さんの実家」が最も多い

- ⑨ 産後1か月くらいの間の子育て場所が「お母さんの実家」や「お父さんの実家」と回答した実家は「柏市内」が最も多い
- ⑩ 産後、退院してからの1か月くらいの間は、概ね手伝ってくれる人が存在している
- ⑪ 産後、退院してからの1か月くらいの間には手伝ってくれた人は、「お子さんの母方祖父母」が最も多く、配偶者（お子さんの父や母）が増加している
- ⑫ 「2週間健康診査」は、約半数の人が受診
H27 41.2% ⇒ R1 56.5% 増加
- ⑬ 退院後1か月程度、助産師や保健師等からの十分な指導・ケアを受けられたとの認識を持っている人は過半数
H27 55.5% ⇒ R1 65.1% 増加
- ⑭ 生後1か月時の栄養法の希望は「母乳」が最も多い
H27 68.4% ⇒ R1 57.2% 減少
- ⑮ 生後1か月時の栄養法の実際は、3～6、1.6健では「混合」3健では「母乳」が最も多い
H27 43.1% ⇒ R1 49.8%（混合） 増加
- ⑯ 子育ての満足度は概ね満足している
- ⑰ 子どもが寝る時間は、「21時台」が最も多い
- ⑱ 子どもが起きる時間は、「6時台」が最も多い
- ⑲ 子どもの生活リズムは、概ね規則正しい状況
- ⑳ 子どもの朝食の摂食状況 改善
・「必ず食べている」が最も多い
1.6健 H27 88.3% ⇒ R1 95.8%
3健 H27 86.3% ⇒ R1 91.0%
・朝食を摂っている人は、「家族」が最も多い
- ㉑ 野菜料理を含む子どもの食事は、「夕食」が最も多い

Ⅱ 現在の子育て状況

- ① 現在の子育ての状況は、概ね満足している
- ② 子育て中の母親の多くは喫煙をしていない
H27 88.3% ⇒ R1 95.8% 改善
- ③ 子育て中の父親の多くは喫煙をしていないが、母親に比べ高い（乳児）
H27 66.7% ⇒ R1 72.7% 改善

- ④ 休日や夜間の子どもが急病の時に診察してもらえる医療機関等の情報は、概ね認知されている 改善
 H27 78.1% ⇒ R1 85.7%
- ⑤ ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親は約7割(乳児) 改善
 H27 72.7% ⇒ R1 77.4%
- ⑥ 多くの父親が育児に関わっている(乳児) 改善
 H27 47.1% ⇒ R1 50.5%
- ⑦ 子どもに対し育てにくさ
 ・「感じない」が多いが、1/4程度の母親は「感じている」
 ・育てにくさの内容は、乳児、1.6健は「育児に関する知識や経験が不足」、3健は「子育てに自信がない」が最も多い
 H27は対象全て「子育てに自信がない」が最も多い
- ⑧ 子どもの社会性発達の認知は、約9割であった
 ・乳児 乳幼児揺さぶられ症候群(96.9%)
 親の後追いをする(95.1%)
 ・1.6健 何かに興味を持った時に、指さして伝える(90.8%)
 ・3健 他人の子どもから誘われれば遊びに加わる(79.8%)
- ⑨ 比較的浴室ドアへの工夫がある割合は減少(1.6) 悪化
 H27 51.3% ⇒ R1 48.8%
- ⑩ 親子が集える場所は「行かない」人が最も多い
- ⑪ 子どもとの外出時に声をかけてくれる近所の人約8割 悪化
 H27 83.3% ⇒ R1 77.3%
- ⑫ この地域で子育てを続ける意向の人が多く 改善
 H27 87.8% ⇒ R1 90.8%
 「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合
- ⑬ 予防接種を進める際の参考は、「かかりつけ医による指導」が最も多く、次いで「予防接種ノート記載の標準接種時期」

オ 災害の備えについて(新規)

- ① 災害へ備えているのは約半数
- ② 家庭で災害の備えは「最低3日分の水と食料の備蓄」が最も多い

カ 今後の母子保健サービスのあり方

- ① 母子保健サービスのニーズは、「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの提供」が最も多い
- ② 妊娠・出産・育児に関するサービス利用に関して保健師等による調整・案内等を要望はやや高い

H27 67.8% ⇒ R1 65.6%

キ 母子に関連するサービス等の利用状況

- ① 「利用した」が多いサービス
新生児訪問，妊婦一般健康診査の助成，乳児一般健康診査の助成
- ② 「利用していない」が多いサービス
さわやかサービス，サタディゆりかごサロン，電子親子手帳
- ③ 利用して満足度が高いサービス
乳児 乳児一般健康診査の助成，新生児訪問，さわやかサービス
1.6 健 ファミリーサポート，乳児一般健康診査の助成，新生児訪問
3 健 フッ化物歯面塗布事業，保育園の一時保育・幼稚園の預かり保育，乳児一般健康診査の助成
- ④ 「利用していない」理由として「存在を知らない」が最も多く次いで「必要性を感じない」が多い

ク 転入に関する状況

- ① 妊娠中や子育て中の2～3割の人が転入者

(2) 人口動態総覧

ア 人口動態総覧の対県, 全国比較 (令和元年)

	柏市	千葉県	全国
出生数	3,031	40,799	865,239
出生率 (人口千対)	7.30	6.60	7.00
乳児死亡数	6	83	1654
乳児死亡率 (出生千対)	2.00	2.00	1.90
新生児死亡数 (生後4週未満死亡)	3	38	755
新生児死亡率 (出生千対)	1.00	0.90	0.90
自然死産数	27	454	8,997
自然死産率 (出産千対)	8.70	10.90	10.20
人工死産数	45	475	10,457
人工死産率 (出産千対)	14.50	11.40	11.80
周産期死亡数	9	136	2,955
周産期死亡率 (出生数に妊娠満22週以後の死産数を加えたものの千対の死亡率)	3.00	3.30	3.40
妊娠満22週以降の死産数	8	114	2,377
早期新生児死亡数 (生後1週未満の死亡)	1	22	578
婚姻数	1,881	28,649	599,007
婚姻率 (人口千対)	4.50	4.70	4.80
離婚数	700	10,072	208,496
離婚率 (人口千対)	1.69	1.64	1.69
合計特殊出生率	1.30	1.28	1.36

イ 人口動態総覧の推移（柏市）

	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
出生数	3,321	3,225	3,169	3,101	3,031
出生率(人口千対)	8.1	8.0	7.80	7.50	7.30
乳児死亡数	7	7	10	4	6
乳児死亡率(出生千対)	2.1	2.2	3.20	1.30	2.00
新生児死亡数（生後4週未満死亡）	4	5	6	2	3
新生児死亡率(出生千対)	1.20	1.60	1.90	0.60	1.00
自然死産数	24	35	41	28	27
自然死産率(出産千対)	7.10	10.60	12.70	8.90	8.70
人工死産数	35	32	31	30	45
人工死産率(出産千対)	10.40	9.70	9.60	9.50	14.50
周産期死亡数	7	13	14	5	9
周産期死亡率 (出生数に妊娠満22週以後の死産数を加えたものの千対の死亡率)	2.1	4.0	4.40	1.60	3.00
妊娠満22週以降の死産数	5	10	10	4	8
早期新生児死亡数 (生後1週未満の死亡)	2	3	4	1	1
婚姻数	2,045	1,875	1,898	1,841	1881
婚姻率(人口千対)	5.0	4.6	4.60	4.50	4.50
離婚数	704	694	716	699	700
離婚率(人口千対)	1.72	1.71	1.75	1.70	1.69
合計特殊出生率	1.37	1.35	1.35	1.33	1.30

(3) 指標の見直しについて

指標番号	指標名	修正を検討すべき事項	修正
7	乳幼児健康診査の未受診率	<ul style="list-style-type: none"> 3～6か月児健診のベースライン値誤りのため、10年後目標値が不適切な数値となっている。 1歳6か月児、3歳児の10年後目標値が達成困難な数値となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3～6か月児健診のベースライン値修正 3～6か月児健診、1歳6か月児、3歳児の10年後目標値を再設定
8	乳幼児健康診査の満足度	<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児、3歳児の調査票の回収方法が計画策定時と異なったため、数値に差異が生じた。 ※平成26年度(策定時)は健診終了後に調査票を回収、令和元年度(中間評価)は健診開始直後に回収	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度令和2年度1歳6か月児、3歳児健診健診会場にて再調査を実施 再調査結果を直近値として採用 参考値として柏市母子保健計画に関する調査(令和元年度実施)の結果を記載
11	仕事を持つ妊婦の割合	<ul style="list-style-type: none"> 目標値10年後を達成している 指標の達成状況のみでは環境整備の実情を把握するデータとはならないため、追加の指標が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 10年後目標値の再設定 補足データの追加 「妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う割合」
14	ハイリスク妊婦の割合	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時の面談率の上昇等特定妊婦、ハイリスク妊婦の早期把握の仕組みにより把握数が増加。把握したケースの支援状況を把握するための追加の指標が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 補足データの追加 「要支援ケースフォローの割合」 目標値、指標については次期計画時に見直しを検討
15	特定妊婦の割合		
16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率	<ul style="list-style-type: none"> 直近値が10年後目標値を達成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 10年後目標値を再設定
19	子どものかかりつけ医を持つ親の割合	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン値ではアンケート調査でとっていたが、中間評価ではデータ未収集。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価は4評価できないとする。 参考値として健やか親子の調査(3.4か月児)、3歳児健康診査のデータを記載
23	朝食を子どものみで食べている親の割合	<ul style="list-style-type: none"> 設問の解釈の仕方により回答にばらつきがある可能性がある。 健やか親子21(第2次)では参考指標として「家族など誰かと食事をする子供の割合」をとっている 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度1歳6か月児、3歳児健診健診会場にて「夕食の共食状況について」聞き取り調査を実施した結果を参考値とする。
26	虐待の可能性がある行為をしている親の割合	<ul style="list-style-type: none"> 健やか親子21(第2次)中間評価により指標名及び算出方法が変更 「乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクトによらない子育てをしている親の割合」 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価では従来の指標で評価を実施 令和2年度実績以降からは健やか親子21(第2次)に準じた指標及び算出方法、目標値へ修正 令和2年度集計数をベースライン値とする
29	十代の人工妊娠中絶率	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン値誤りのため、10年後目標値が不適切な数値となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン値修正 10年後目標値を再設定
30	十代の性感染症罹患率	<ul style="list-style-type: none"> 健やか親子21(第2次)中間評価では算出方法の変更、梅毒の追加となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 健やか親子21(第2次)に合わせ算出方法を変更(定点1か所当たりの報告数) 実数による梅毒報告数の追加 算出方法変更により令和元年度をベースラインとする 中間評価は4評価できないとする
33	歯肉に炎症がある十代の割合	<ul style="list-style-type: none"> 数年前より健診前に口腔内に関する事前アンケートを実施ように実施方法が変更となっている。 データに学校間格差があることを把握 	<ul style="list-style-type: none"> 補足データの追加 口腔内の関心を持っている割合の数値を把握する目的として健診後の「むし歯経験者のうち処置完了の者の割合」の推移を確認する

ア 指標の数値及び指標名の修正

ベースライン値の修正, 指標名の変更, 最終評価目標の再設定

指標番号	指標名	ベースライン値	ベースライン修正	中間目標値	直近値	最終評価目標	最終評価目標案	根拠
7	乳幼児健康診査の未受診率	3~6か月児 1.7% 1歳6か月児 8.2% 3歳児 10.7%	3~6か月児 9.6% 1歳6か月児 修正なし 3歳児 修正なし	3~6か月児 1.5% 1歳6か月児 5.0% 3歳児 7.0%	3~6か月児 9.0% 1歳6か月児 10.2% 3歳児 13.5%	3~6か月児 1.0% 1歳6か月児 3.0% 3歳児 5.0%	<u>3~6か月児</u> 3.0% <u>1歳6か月児</u> 4.0% <u>3歳児</u> 6.0%	<ul style="list-style-type: none"> 3~6か月児のベースを再計算し修正 健やか親子21(第2次)の5年後の目標値を最終評価目標値へ修正
11	仕事を持つ妊婦の割合	53.9%	修正 なし	56.0%	64.3%	60.0%	70.0%	<ul style="list-style-type: none"> 伸び率を考慮
16	乳児家庭全戸訪問事業での面談率	68.6%	修正 なし	80.0%	96.2%	95.0%	97.0%	<ul style="list-style-type: none"> 伸び率を考慮
26	<u>乳幼児期に体罰や暴言, ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合</u> ※R2集計分より変更 (R1集計分まで) 虐待の可能性のある行為をしている親割合	二	<u>令和2年度実績値</u>	二	<u>令和2年度分より集計</u>	二	<u>3・4か月児</u> 95.0% <u>1歳6か月児</u> 85.0% <u>3歳児</u> 70.0%	<ul style="list-style-type: none"> 指標名の変更 健やか親子21(第2次)の10年後の目標値へ合わせ修正 算出方法は健やか親子に準ずる 令和2年度の実績をベースラインとする
29	十代の人工妊娠中絶率	8.7	3.8	7.5	3.2	6.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ベースライン値誤りを修正 健やか親子21(第2次)の10年後の目標値4.0を下回るため3.0に修正
30	十代の性感染症罹患率	性器クラミジア・淋菌感染症・尖圭コンジローマ・性器ヘルペス 4.0%	<u>性器クラミジア2</u> <u>性器ヘルペス 0.33</u> <u>尖圭コンジローマ</u> <u>1.67</u> <u>淋菌感染症 1</u> <u>梅毒(実数)14</u> (R1)	減少	<u>性器クラミジア2</u> <u>性器ヘルペス 0.33</u> <u>尖圭コンジローマ</u> <u>1.67</u> <u>淋菌感染症 1</u> <u>梅毒(実数)14</u>	減少	修正なし	<ul style="list-style-type: none"> 健やか親子21(第2次)に合わせ算出方法を変更(定点1か所当たりの報告数) 実数による梅毒報告数の追加

イ 新たに追加する補足データ

指標番号	指標名	ベースライン	直近値	中間目標値	最終目標値	最終評価目標案	根拠
11	仕事を持つ妊婦の割合	59.3%	64.3%	56.0%	60.0%	70.0%	
補足データ	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就業妊婦の割合	89.5% (R1)	89.5%	二	二	93.0%	健やか親子21（第2次）の5年後の目標値
14	ハイリスク妊婦の割合	11.0%	20.1%	9.0%	8.0%	修正	
15	特定妊婦の割合	2.9%	6.6%	減少	減少	なし	
補足データ	要支援ケースフォローの割合	83.3% (R1)	83.3%	二	二	90.0%	地域保健課要支援フォロー割合を算出
33	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生: 12.3% 中学生: 16.5%		小学生: 12.0% 中学生: 15.0%	小学生: 11.0% 中学生: 14.0%	修正 なし	
補足データ	むし歯経験者のうち処置完了の者の割合	小学生: 51.8% 中学生: 61.6% (R1)		小学生: 51.8% 中学生: 61.6%	増加	増加	

ウ 参考値を追加する指標

指標番号	指標名	参考値の調査方法	参考値
8	乳幼児健康診査の満足度	・柏市母子保健計画に関する調査（令和元年度実施）	健診を利用した方の満足度 「満足」 1歳6か月児:44.9% 3歳児:48.8%
19	子どものかかりつけ医を持つ親の割合	・健やか親子21（第2次）アンケート調査（3・4か月児） ・3歳児健康診査問診票（3歳児）	「かかりつけ医を持つ親の割合」 3・4か月児 53.6% 3歳児 84.8%
23	朝食を子どものみで食べている親の割合	・幼児健康診査の育児相談にて夕食の共食状況について聞き取りを実施。朝食は問診票の項目より確認。（令和2年11月実施）	朝食、夕食の共食状況 「家族」 1歳6か月児:朝食75% 夕食87% 3歳児 :朝食79% 夕食96%

(4) 母子保健事業の変移

計画策定当時から母子保健事業の変移について以下のとおりとなります。

地域健康づくり課		地域保健課			
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
平成28年4月～ 柏市母子保健計画(10年計画)				令和2年～ 新型コロナウイルス感染症流行	
平成29年4月～ 柏市妊娠子育て相談センター		新規2か所【ウェルネス柏・沼南庁舎】			
平成29年10月～ 柏市妊娠子育て相談センター		新規1か所 駅前			
妊娠届出時に 専門職による 全数面接	平成30年4月～ 柏市妊娠子育て相談センター		新規1か所 市役所		
	平成30年10月～ 柏駅前すこやかプチルーム開所				
平成29年7月～ 産後ケア事業開始(こども福祉課)				令和3年～ 地域保健課へ	
平成30年4月～ 子ども家庭総合支援拠点設置					
はくはくひろば(沼南)					
平成29年11月～ はくはくひろば(若柴)・利用者支援事業					
ママパパ学級 (育メン編・子育て栄養編・ すこやかママ編) ～平成30年3月	平成30年4月～ ママパパサロン・サタデーゆりかごサロン開始				
	平成30年4月～ こうのとりにサロン・かんがるーサロン開始				
	平成30年4月～ 産前産後サポート事業(アウトリーチ)				
新生児聴覚検査助成開始					
平成29年4月～		乳児家庭全戸訪問事業 新生児訪問事業・こんにちは赤ちゃん事業(全数専門職による訪問)			
のびのび相談事業 ～平成30年3月		平成30年4月～ 8か月児相談事業開始			
地域ぐるみ子育て支援事業「母と子のつどい」					
平成29年4月～柏市民健康づくり推進員の赤ちゃん訪問					